

岩手県不動産市場動向に 関するアンケート調査結果

第25回調査（令和5年4月1日時点）

令和5年6月

一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会

公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会

岩手県不動産市場動向に関する第25回アンケート調査の実施によせて

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災を契機に3協会の共同で始めました岩手県不動産市場動向に関するアンケート調査（第25回）結果の概要は以下のとおりです。

- ① 住宅地については、価格DIは実感・予測ともに県央部及び内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。
取引件数DIは、県央部及び内陸北部が横ばい、他の地域はマイナス。予測では、全地域がマイナス。
- ② 商業地については、価格DIは実感・予測ともに県央部がプラス、他の地域はマイナス。
取引件数DIは、県央部が横ばい、他の地域はマイナス。予測では、県央部がプラス、他の地域はマイナス。
- ③ 中古住宅については、価格DIは県央部及び内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。予測では、県央部、内陸北部及び内陸南部がプラス、沿岸北部及び沿岸南部はマイナス。
取引件数DIは、県央部がプラス、沿岸北部は横ばい、他の地域はマイナス。予測では、県央部及び内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。
- ④ 昨今の建設資材の価格上昇等による影響として、利益確保の難易度が上がっていること、新築から中古住宅へ需要が移転していること、建築が見送られる場合があること、総額の観点から土地の価格にも影響を及ぼし始めていること、などの回答が寄せられた。

①、②及び③について、住宅地価格DI、商業地価格DI及び中古住宅価格DIは、それぞれ県央部ではプラスを維持し、内陸南部ではいずれも上昇する結果となりました。一方で内陸北部ではいずれもプラスからマイナスに転じており、また沿岸北部及び沿岸南部ではいずれもマイナスを継続する結果となりました。コロナ禍当初は全体的に商業地価格DIが低下するなど、用途による傾向が見られましたが、今回は用途よりも地域による傾向が確認されました。

④について、昨今の建設資材の価格上昇等による影響として、販売価格への転嫁が困難であることによって利益が圧迫される場合があること、新築から中古住宅へ需要が移転していること、土地を購入しても建物の建築が先延ばしになる場合があること、などの回答が寄せられました。加えて、土地の価格や好まれる地域にも影響を及ぼし始めているとの回答も寄せられました。

3協会では、当アンケート調査が、復興の推進、市場関係者の意思決定に資するものとなるよう、改善を施しながら継続していきたいと考えておりますので、今後とも、当該調査活動にご理解とご支援を賜ります様お願い申し上げます。最後に、ご業務のなか貴重なお時間を割いて当調査にご理解とご協力を下さいました会員の皆様に、心より感謝いたします。

令和5年6月

一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会
会長 多田 幸司

公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部
本部長 浅沼 儀洋

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会
会長 佐藤 真

目 次

〔1〕 岩手県不動産市場動向調査の概要	1
1. アンケート調査の概要	1
2. 動向判断指数（DI）等について	3
3. アンケート調査票	4
〔2〕 アンケート集計結果	6
1. 調査結果の概要と動向判断指数（DI）による分析	6
(1) 調査結果の概要	6
(2) 動向判断指数（DI）による分析	14
2. 設問ごとの回答内訳	20
問3 取引価格の6ヶ月前（R4.10.1時点）との比較	20
問4 6ヶ月後の取引価格の予測	22
問5 取引件数の6ヶ月前（R4.10.1時点）との比較	24
問6 6ヶ月後の取引件数の予測	26
問7 賃料の6ヶ月前（R4.10.1時点）との比較	28
問8 入居率の6ヶ月前（R4.10.1時点）との比較	29
お問い合わせ窓口等	30

〔1〕岩手県不動産市場動向調査の概要

1. アンケート調査の概要

一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会、公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部及び一般社団法人岩手県不動産鑑定士協会の三者共同で、令和4年10月1日（第24回調査時点）から令和5年4月1日（第25回調査時点）までの6ヶ月間の不動産市場の推移に関する実感と、この先6ヶ月間（R5.4.1～R5.10.1）の市場動向に関する予測、不動産市場の特徴的な動き、国・県・市町村等に対する要望・意見等についてアンケート調査を実施した。アンケートの対象は一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部の会員である。

なお、本調査は3ページのとおり定性調査であり、具体の取引件数、成約価格等の定量調査ではない。

- (1) 実施時期 令和5年4月
- (2) 調査方法 一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部の会員に対するアンケート調査
- (3) 発送数 722
- (4) 回収数 188 (回収率：26.0%)
- (5) 地域区分 沿岸北部、沿岸南部、県央部、内陸北部、内陸南部の5つに地域区分し集計した。

問1：回答者の主な営業地域

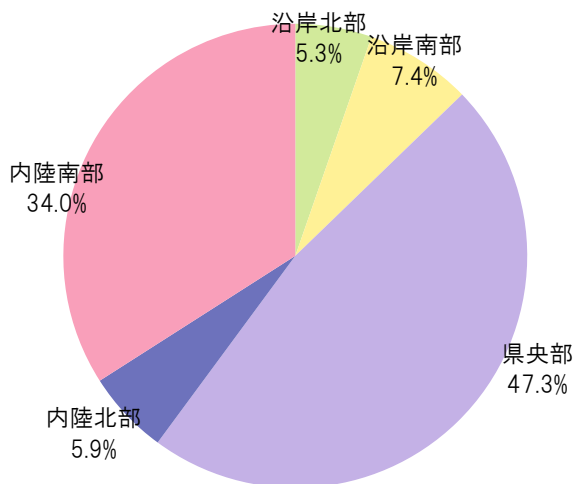
〈各市町村の地域区分〉



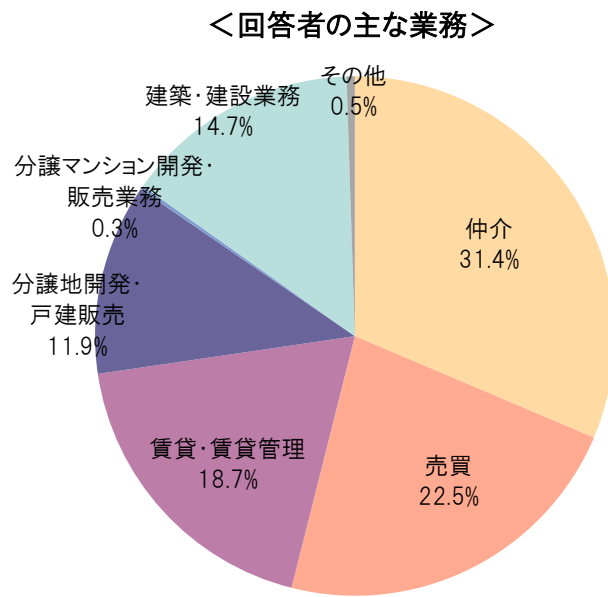
地域区分	地区名	発送数	回答数	回収率
	沿岸北部	51	10	19.6%
	沿岸南部	39	14	35.9%
	県央部	365	89	24.4%
	内陸北部	28	11	39.3%
	内陸南部	239	64	26.8%
	合計	722	188	26.0%

※回収率は、発送数を事務所所在地を基準とし、回答数は、主な営業地域により計算している。

〈回答者の主な営業地域〉



問2：回答者の主な業務

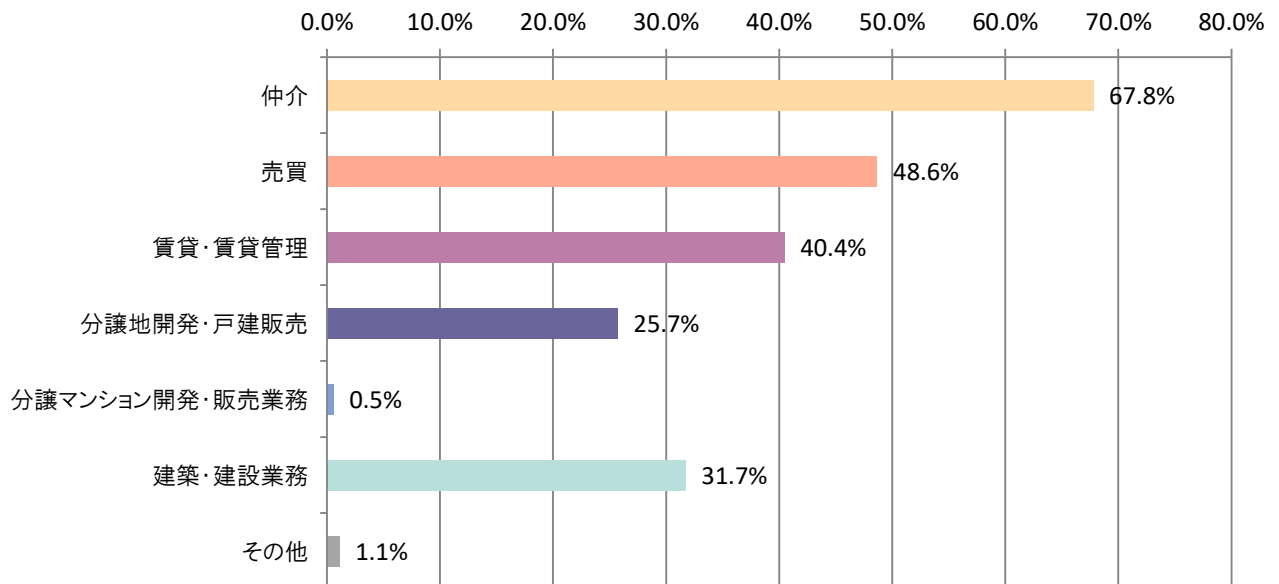


主な業務についての回答	
回答の有無	回答数
回答あり	183
回答なし	5
合計	188

主な業務	回答数
仲介	124
売買	89
賃貸・賃貸管理	74
分譲地開発・戸建販売	47
分譲マンション開発・販売業務	1
建築・建設業務	58
その他	2
合計	395

(複数回答あり)

回答者の主な業務の回答割合(主な業務の回答数÷回答ありの回答数)



仲介、売買を主な業務としている会員が多い。

2. 動向判断指数（DI）等について

（1）動向判断指数（DI）

① DIとは

DIとは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、現状や先行きの見通し等についての定性的な判断を指標として集計加工した指数であり、経済指標等において広く活用されている。

本調査においては、DIとして指数化することにより調査項目の時系列把握や地域間比較を行ったりすることが容易となる。

2 DIの算出方法

本調査におけるDIの算出方法は、各判断項目について上昇（増加）から下落（減少）までの5段階または3段階の選択肢を用意し、選択肢毎の回答数を単純集計して全回答数に対する構成比率を求め、次式により算出する。

<算出方法（5段階の例）>

住宅地の地価	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	不明 無回答
回答数	A	B	C	D	E	F

$$DI = \{ (A \times 2) + (B \times 1) + (D \times -1) + (E \times -2) \} \div 2 \div (A + B + C + D + E) \times 100$$

<算出方法（3段階の例）>

建築資材の価格	上昇	横ばい	下落	不明 無回答
回答数	A	B	C	D

$$DI = (A - C) \div (A + B + C) \times 100$$

※DIが0.0以上となれば回答者は市況に対して前向きに考えていると言え、理論上のDIの幅は、プラスマイナス100の範囲となる。

（2）中央値

中央値とは、データを大きさの順に並べたとき、全体の中央にくる値、データの数が偶数の時は、中央にある二つの値の平均値。

3. アンケート調査票

岩手県不動産市場動向アンケート(第25回)

■問1 県内における御社(支店・営業所の場合は当該支店・営業所)の主な営業地域についてお聞かせ下さい。

(最も取引件数の多い市町村をひとつ選んで○をつけるか、【】内に記載してください。例：奥州市江刺、一関市大東町等)

- 1.盛岡市 2.八幡平市 3.滝沢市 4.紫波町 5.矢巾町 6.雫石町 7.岩手町 8.葛巻町 9.花巻市 10.遠野市 11.北上市
12.西和賀町 13.奥州市 14.金ヶ崎町 15.一関市 16.平泉町 17.久慈市 18.洋野町 19.野田村 20.普代村
21.田野畑村 22.二戸市 23.一戸町 24.軽米町 25.九戸村 26.宮古市 27.釜石市 28.大槌町 29.岩泉町
30.山田町 31.大船渡市 32.陸前高田市 33.住田町 【 】

■問2 御社(支店・営業所の場合は当該支店・営業所)の主な営業業務についてお聞かせ下さい。
(○印をお願いします。複数回答可)

- 1.仲介業務 2.売買業務 3.賃貸・賃貸管理業務 4.分譲地開発・戸建販売業務
5.分譲マンション開発・販売業務 6.建築・建設業務 7.その他()

以下、設問3～8は、調査・集計の性格上、可能な限り1～5の選択肢でのご回答をお願いします。地域によっては、取扱いがない、もしくは極めて少ない不動産(例：産業用地)の場合、「6.不明」の場合もあるかと思います。

■問3 現在(R5.4.1時点)の主な営業地域の取引価格は、6カ月前(R4.10.1時点)と比較してどのように感じていますか？

- 住宅地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
商業地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
産業用地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
中古住宅の価格： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明

※1 産業用地は、工場・倉庫・物流施設用地、資材置場用地等についてご回答をお願いします、以下同様です。

■問4 6カ月後(R5.10.1時点)の主な営業地域の取引価格は、現在(R5.4.1時点)と比較してどうなると予測しますか？

- 住宅地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
商業地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
産業用地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
中古住宅の価格： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明

■問5 現在(R5.4.1時点)の主な営業地域での取引件数は、6カ月前(R4.10.1時点)と比較してどのように感じていますか？

- 住宅地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
商業地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
産業用地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
中古住宅の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明

■問6 6カ月後(R5.10.1時点)の主な営業地域での取引件数は、現在(R5.4.1時点)と比較してどうなると予測しますか？

- 住宅地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
商業地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
産業用地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
中古住宅の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明

■問7 現在(R5.4.1時点)の賃料は、6カ月前(R4.10.1時点)と比較してどのように感じていますか？

住居系不動産の家賃： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明

その他不動産の家賃： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明

■問8 現在(R5.4.1時点)の入居率は、6カ月前(R4.10.1時点)と比較してどのように感じていますか？

住居系不動産の入居率： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや低下 5. 大きく低下 6. 不明

その他不動産の入居率： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや低下 5. 大きく低下 6. 不明

■問9 営業地域の不動産取引で特徴的なことがありましたら教えてください。

■問10 2021年に顕在化した、いわゆる「ウッドショック」と呼ばれる木材価格の高騰に端を発し、最近では木材のみならず建設資材や住宅設備の価格上昇、品不足が問題となっています。建設資材の価格上昇等による不動産取引等への影響についてご教示ください。

(記載例：建物価格の上昇を販売価格に転嫁することに苦慮している。住宅設備の入荷が遅れたため工期を延長した。et c.)

■その他 (先行きの動向予測や、国、県、市町村、当調査等へのご意見・要望などを、ご自由にお書きください。)

以上で質問は終了です。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。本アンケート用紙は、令和5年4月28日(金)までに次のFAX番号宛に送信、又は同封の返信用封筒にて返信お願いいたします。

一般社団法人岩手県不動産鑑定士協会 FAX番号 019-622-8485

差し支えなければ、下記についてご回答をお願いいたします。本アンケートの集計結果の送付を希望される場合は、貴社名・〒番号・ご住所は必ず記載をお願いいたします。(タナ版を押して頂ければ結構です。)

所 属 協 会	<input type="checkbox"/> 一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会
どちらかに○印をつけてください	<input type="checkbox"/> 公益社団法人 全日本不動産協会 岩手県本部
貴社名(営業所・支店名)	
〒 番 号 ・ ご 住 所	
電 話 番 号	
ご 担 当 者	
※ 調 査 結 果 の 送 付	希望する 希望しない ←○印をつけてください

〔2〕アンケート集計結果

1. 調査結果の概要と動向判断指数（DI）による分析

（1）調査結果の概要

■ 住宅地の価格

県央部と内陸南部がプラスを継続し、半年後の予測でも両地域はプラス。一方で、内陸北部は前回のプラスからマイナスのトレンドに回帰し、沿岸北部及び沿岸南部は依然として実感・予測ともにマイナス。

過去5回（R2/10、R3/4、R3/10、R4/4、R4/10）から今回調査（R5/4）に至る住宅地価格DI（実感）の推移をみると、沿岸北部が▲28.6⇒▲57.1⇒▲32.1⇒▲16.7⇒▲45.5⇒▲31.3、沿岸南部が▲27.3⇒▲25.0⇒▲29.4⇒▲21.9⇒▲28.6⇒▲35.7と両地域ともに依然としてマイナスで推移しており、住宅地需要が低迷する状況が継続している。

その他の地域は、県央部が10.1⇒11.8⇒19.8⇒30.4⇒30.0⇒28.1と引き続き強含みとなっている。また、前回プラスに転じた内陸南部が▲14.8⇒▲4.4⇒▲3.0⇒0.0⇒4.8⇒12.5とプラス幅を拡大している一方、同じく前回プラスに転じた内陸北部は0.0⇒▲14.3⇒▲8.3⇒▲21.4⇒10.0⇒▲13.6とマイナスのトレンドに回帰する結果となっている。

■ 商業地の価格

県央部がプラスを継続し、半年後の予測でもプラス。一方で、内陸北部は前回のプラスからマイナスのトレンドに回帰し、沿岸北部、沿岸南部及び内陸南部は依然として実感・予測ともにマイナス。

過去5回から今回調査に至る商業地価格DI（実感）の推移をみると、沿岸北部が▲42.9⇒▲42.9⇒▲25.0⇒▲25.0⇒▲25.0⇒▲33.3、沿岸南部が▲45.0⇒▲28.6⇒▲26.7⇒▲16.7⇒▲28.6⇒▲28.6とマイナスが継続しており、住宅地と同様に需要の低迷が顕著となっている。

その他の地域は、県央部が▲2.7⇒▲7.5⇒▲1.6⇒5.1⇒9.8⇒14.2とプラス幅を拡大し、内陸南部が▲21.6⇒▲17.6⇒▲13.9⇒▲14.6⇒▲1.6⇒▲1.0とマイナス幅を縮小している。一方で前回プラスに転じた内陸北部が⇒▲14.3⇒▲25.0⇒▲20.0⇒▲30.0⇒11.1⇒▲22.2とマイナスのトレンドに回帰する結果となっている。

■ 中古住宅の価格

県央部がプラスを継続し、半年後の予測でもプラス。内陸南部はマイナスからプラスに回復し、半年後の予測でもプラス。内陸北部は前回のプラスからマイナスに転じたものの半年後の予測ではプラス。沿岸北部及び沿岸南部は依然として実感・予測ともにマイナス。

過去5回から今回調査に至る中古住宅価格DI（実感）の推移をみると、沿岸北部が▲25.0⇒▲58.3⇒▲25.0⇒▲26.7⇒▲15.0⇒▲28.6、沿岸南部が▲36.4⇒▲30.8⇒▲34.4⇒▲28.6⇒▲19.2⇒▲38.5と縮小傾向であったマイナス幅が拡大した。

その他の地域は、県央部が2.5⇒3.8⇒11.5⇒21.9⇒25.0⇒26.0とプラスを継続し、内陸南部が▲16.9⇒▲11.3⇒▲4.1⇒▲3.4⇒▲1.5⇒3.8とプラスに転じた一方、前回プラスに転じた内陸北部が▲12.5⇒▲21.4⇒▲14.3⇒▲25.0⇒10.0⇒▲9.1とマイナスに戻る結果となっている。

■ 賃料

住居系不動産賃料は内陸南部がプラスを継続し、内陸北部が横ばいからプラスに転じている。他の地域はマイナスを継続。

■ 問9：営業地域における不動産取引で特徴的な事項

① 沿岸北部

(久慈市)

- ・ 久慈市の旧市街地はゴーストタウンの一手手前か住宅街になりつつある。今のうちに対策することが必要である。

(宮古市)

- ・ 管理専門の業者がないので不便である。
- ・ 沿岸の家賃相場が高い。もっと低くなれば成約し易い。

(山田町)

- ・ 売り出し、宣伝などを行っても問い合わせすらない。

② 沿岸南部

(釜石市)

- ・ 津波の被災地域は売買・賃貸ともに動きが無い。
- ・ 相続による売却の依頼が増えているが、昨今の需給を反映して価格が安めに設定されることが多い。
- ・ 宮城県気仙沼市も営業範囲であるが、岩手県よりも取引は多いと感じる。

(大船渡市)

- ・ 太陽光発電用地の紹介依頼が増加傾向である。

(陸前高田市)

- ・ 人口減少による影響で土地はあっても家屋の新築が進まない。それでも建売はなんとか売れているようである。
- ・ 津波の被災地域の整備に10年を要したため、その間に高台の地域が住宅需要を吸収した。

③ 県中部

(盛岡市)

- ・ 建築が見送られている一方、土地を確保する動きが進んでいる。
- ・ 物価上昇によって造成費用が嵩み、販売価格の上昇要因となっている。
- ・ アパートの入居率が低下している。
- ・ 住宅用地の価格が上昇している。
- ・ 建築価格高騰に伴い、土地の動きが鈍化している。
- ・ 売却物件情報が少なくなっている。
- ・ 建築会社による土地の買い占めが目立つ。
- ・ 中古住宅を探す顧客が増えてきたように感じる。
- ・ 建築コストの上昇により、比較的高額の中古住宅の取引件数は増加しているが、新築建売はなかなか売却につながらない。
- ・ 土地価格は上昇している。
- ・ リモートワークの普及によって移動が減少したためか、コロナ禍の落ち着きが賃貸市場の回復には繋がっていない。

- ・ 中心地に空き物件が多い。
- ・ エリアによっては、賃貸の空室が増えた印象がある。
- ・ 昨年から続く傾向ではあるが、注目されなかった土地が売買されている。

(矢巾町)

- ・ 矢巾町等の盛南地区以南に需要を感じる。
- ・ 調整区域内において、工場を建設する際の資材置場や駐車場として利用することを目的とした土地の賃貸借があった。
- ・ 建築業者による土地の買取が多くなっており、割高な価格で売り出されることによって、相場の高騰につながっている。
- ・ 来年以降医大周辺約500区画の造成宅地が販売開始となるため、矢巾町は不動産取引及び建築が活発になると思う。

④ 内陸南部

(花巻市)

- ・ 極端な人気地区があり、希望がその地域に集中しているように思われる。

(遠野市)

- ・ 空家は増加しているが、売却の動きは鈍い。

(北上市)

- ・ 大規模工場建設のため、アパートが不足している。
- ・ キオクシア周辺の土地取引が活発である。

(奥州市)

- ・ 大手製造業の立地が進んでいるため、関連事業の不動産需要に強さがあるものの、商業地の落ち込みは止まらない。
- ・ 土地の売買や賃借等の相談の件数が少し多くなってきている。
- ・ 終活として、割安でも資産売却を希望している方が多くいる。

(一関市)

- ・ アパートの入居が減少している。
- ・ 農地の売却が多くなってきた。
- ・ 相続物件の販売件数が増加している。

■ 問10：建設資材の価格上昇等による不動産取引等への影響

① 沿岸北部

(洋野町)

- ・ 価格を高くして販売することが出来なければ商売にならない。

(宮古市)

- ・ 建物価格の上昇が予算を圧迫するため、土地の価格を引き下げる傾向が出てきている。

② 沿岸南部

(釜石市)

- ・ 利益がやや低下している。
- ・ 外構費を削減して対応している。

(大船渡市)

- ・ 新築物件の価格が上昇しているため、中古住宅購入希望が増加している。

(陸前高田市)

- ・ 予算内に収めるための設計変更を行っている間に資材価格が高騰し、結局は予算を超過してしまった方がいた。
- ・ 工期を延長して対応している。
- ・ 建築の時期を引き延ばしている方が多くみられ、それに伴って土地購入を見合わせている方も多くいるようだ。

(大槌町)

- ・ 建設資材の価格上昇によって建築を控える方が多く、中古住宅の需要が増えてきている。

③ 県央部

(盛岡市)

- ・ 工事中の値上げがあるが、価格に反映することができずに苦慮している。
- ・ 建築資材の上昇に伴い、建築物価格の上昇が止まらない。
- ・ 貸室内設備の突発的な故障に対して部品の納期が遅くなることもあり、対応に苦慮する場面がある。
- ・ 多少影響があると思われる。
- ・ 顧客の予算と資材の価格上昇を踏まえた販売価格との剥離が大きく、利益確保に苦労している。
- ・ 値引き前提での申込が多い。
- ・ 新築住宅を検討する人が減少していると感じる。ハウスメーカーによる土地の買取件数も減少していると思う。
- ・ 中古住宅が高値で取引されると思う。
- ・ 住居を建築する際の総額が数年前との比較でかなり上昇しているが、金利の低さでカバーできている部分がある。金利の上昇が続けば市場の冷え込みに繋がる。
- ・ 再生物件でも工事費の増加や工期の遅延がでている。
- ・ 建物価格の上昇を販売価格に転嫁することに苦慮している。

- 新築から中古住宅需要へシフトして、中古市場が活発化している。
- 取引が少ないため、ほとんど影響がない。
- 造成工事の金額が上がり、以前よりも分譲利益を確保し難くなっており、それによって販売価格も上がってしまう傾向にある。
- 値上がりによって顧客の負担が増している。補助金はあるものの取り残されている年代の方もいる。非常に厳しい時代だ。
- 住宅価格の全体的な上昇により購入者層が狭くなってきている。
- 解体で生じる廃材の処分費が上昇傾向にある。
- 建物価格の上昇が土地の予算を抑える行動に繋がっている。
- 客層が変化しており住宅取得需要が徐々に減退することを懸念している。
- 建物資材高騰により、計画の見送りが数件あった。
- 管理物件の設備修繕も資材不足の影響で時間を要することがあった。
- マンション、アパートの給湯設備の入庫が遅れ、入居者の生活に支障が出た。
- 土地のみの購入が多く、建築が見送られることがある。
- 建築費が上がったために、比較的手頃なエリアの土地を探す方が増えた。
- 新築価格上昇のため、中古住宅の反響が増加している。
- リフォーム費用が嵩むことによって中古住宅の価格が高くなる。そのため購入をためらう方が増えた。
- 貸室の修繕を手配しても以前より時間がかかり、また価格が高くなっており、入居者・オーナーともに負担となっている。
- 原状回復費用の上昇で貸主の負担が増えている。

(盛岡市・矢巾町)

- 盛岡市内の流通は鈍化する一方、矢巾町の影響は少ないと思う。

(矢巾町)

- 新築希望の方が建築費高騰で築浅中古物件を探して来店することが増えた。

(滝沢市)

- 売地の販売にも影響が出ている。

④ 内陸北部

(八幡平市)

- 総合的な価格上昇のため、取引件数の下落が感じられる。

(二戸市)

- 見積、契約時の金額と設備資材納品時の価格が異なるため、利益の見通しが立たない。

⑤ 内陸南部

(花巻市)

- 新築価格の上昇に伴い、中古価格が上昇している。
- 木材価格だけではなく、塗装の塗料価格も値上がりしている。リフォームをするか売却をするか等、中古住宅の所有者への的確なアドバイスが必要となっている。
- 建築費は上がるが、総予算はそこまで上げたくない気持ちが顧客にはあるため、土地購入費用にかかる予算を抑えたいと希望する方が多い。そのため、土地の販売価格がなかなか上がらない印象がある。

(遠野市)

- 建物価格の上昇によって土地のキャンセル（ローンが通らない等）が相次いだ。

(北上市)

- 販売価格への転嫁が難しい。
- 新築住宅価格の上昇によって中古住宅のニーズが高まっていると感じる。
- ウッドショックによる価格の高騰を現在も維持したまま、品不足は徐々になくなっている。同時に受注の減少につながっている。
- 住宅設備の入荷が遅れたため、工期を延長した。
- 販売価格に転嫁出来ている。
- 品不足による納期遅れによって、入居日を遅らせざるを得ないことがあった。

(奥州市)

- 建築費高騰により、住宅地の売買が不振である。
- すべての資材、建材の価格が上昇しており、住宅建築の坪単価はコロナ前に比べて10万円は高くなっている。
- 品不足は解消されたと感じる。一方で価格高騰による影響は大きく、見積時と実際の価格との差が著しいため、利益確保に工夫を要する。
- 住宅設備の修繕を行うための部品及び製品の納入に時間が掛かり、対応に苦労した。
- 建築資材等の価格上昇で土地の価格に影響が生じている。
- 販売価格の上昇に伴い、施主の要望に添うことが困難になってきている。

(一関市)

- 住宅ローンの借入金額が多少増加している。
- 工期が長くなっている。
- 賃貸運営のメンテナンス・修繕費用が上がっているが、賃料には反映できていない。
- 建物価格は高止まりしている。
- 建築資材の価格上昇等により、アパート、貸家等の建設が止まった。住宅建設も減少傾向である。

■ その他（先行きの動向予測や、国、県、市町村、当調査等への意見・要望等）

① 沿岸北部

（久慈市）

- ・ 産業用地や発電所用地の誘致に関する政策を望む。

（宮古市）

- ・ すべての取引を電子化し、紙媒体の書類を無くしたい。
- ・ 対面（ビデオ通話）での重説を不要にしてほしい。

② 沿岸南部

（釜石市）

- ・ 協会で不動産の物件情報チラシを新聞折込やタウン誌等へ掲載してほしい。

（大船渡市）

- ・ 農業振興地域の見直しによって5年間は農振除外ができないため、農地の流通は困難となり、担い手のない農家が困っている。
- ・ 住宅ローン変動金利は最低水準となっているが、銀行間競争激化のためか未だに金利を下げる銀行があるのは驚かされる。日銀総裁交代後も現状維持であれば住宅需要には追い風になる可能性がある。

③ 県央部

（盛岡市）

- ・ 電気代の値上げが物価上昇の一因となっており、原発を動かして電気代を下げてほしい。
- ・ 県産材の利用を促進してほしい。
- ・ 緊縮財政が継続すると住宅ローン破産等が増え、空家が増加していくのではないかと懸念。
- ・ 盛岡市のHPではマンション管理計画認定制度の積極的な取り組みが記載されているが、岩手県の取り組み情報が少ない。
- ・ 「こどもエコすまい支援事業」は補助金100万（新築）で統一されているので、前回並みの50万円と100万円の2段階の支援に戻してほしい。
- ・ 簡易に取り組める中心市街地活性化事業を期待する。
- ・ 県内主要市町村のインフラ整備を充実し、住みやすい環境を行政として推進してほしい。
- ・ 一般ゴミ業者への許認可が狭き門となっており不便である。
- ・ 周辺地域の需要等を鑑みて農振地域の解除を推進しても良い地域があるのではないかと懸念。
- ・ 各地域の売買事例をなるべく詳しく出してほしい。
- ・ 中古マンションに関する管理計画認定制度の情報が少ない。

（雫石町）

- ・ 上下水道管に関する資料が残っていない土地では、立地が良くても取引がなかなか進まない事がある。不明であれば市町村にて調査を行う体制が整ってほしい。
- ・ 所有者の同意を得ずに除雪車が空き地に大量の雪を廃棄していることがある。加えて除雪車による境界杭の破損、縁石の破損などが生じていることがあるため改善してほしい。

④ 内陸南部

(奥州市)

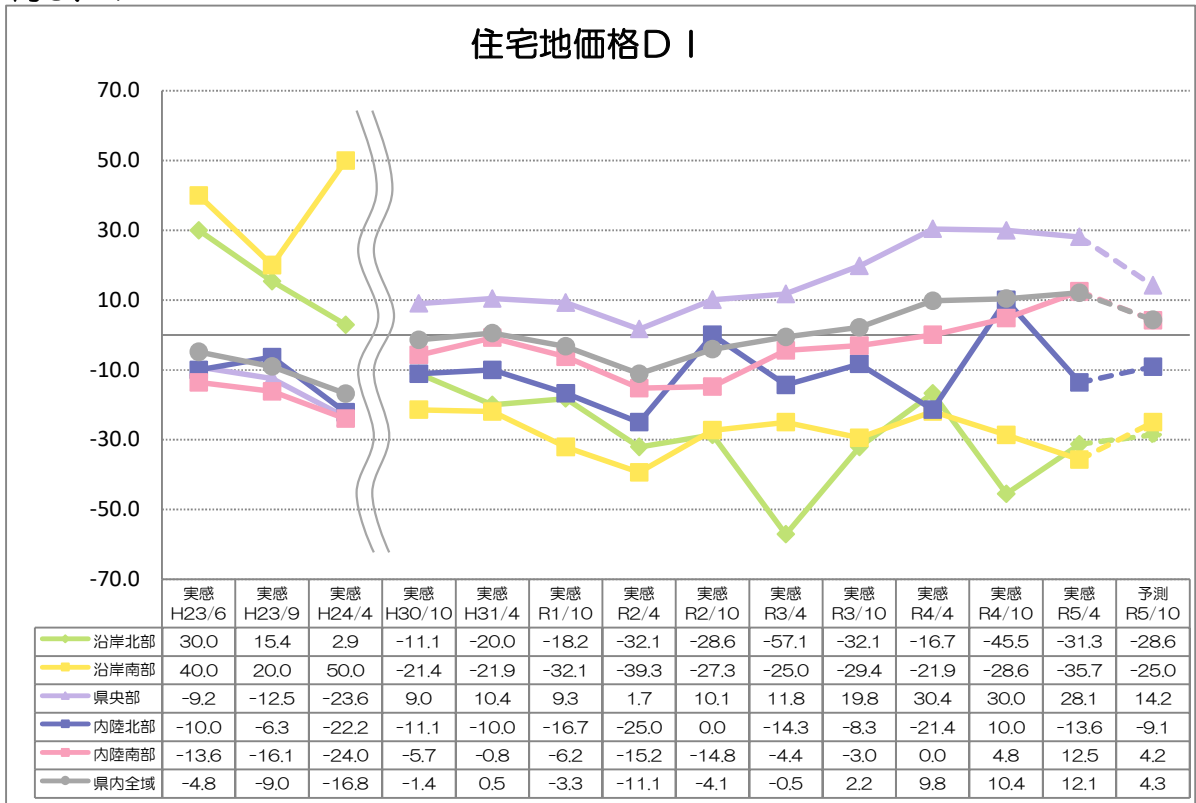
- 空家、所有者不明土地の活用をもっと簡易に出来るようにしてほしい。
- 優遇税制の継続、補助金等の拡充等を望む。
- 解体等の補助、税負担の軽減等、土地政策に重点を置き土地の流動化を推進してほしい。

(一関市)

- 先行きは厳しいと思われる。
- 空家対策として建物を解体して更地とした際、固定資産税の増額を控えてほしい。
- 建築工事及び不動産取引（売買、賃貸とも）の減少が懸念される。

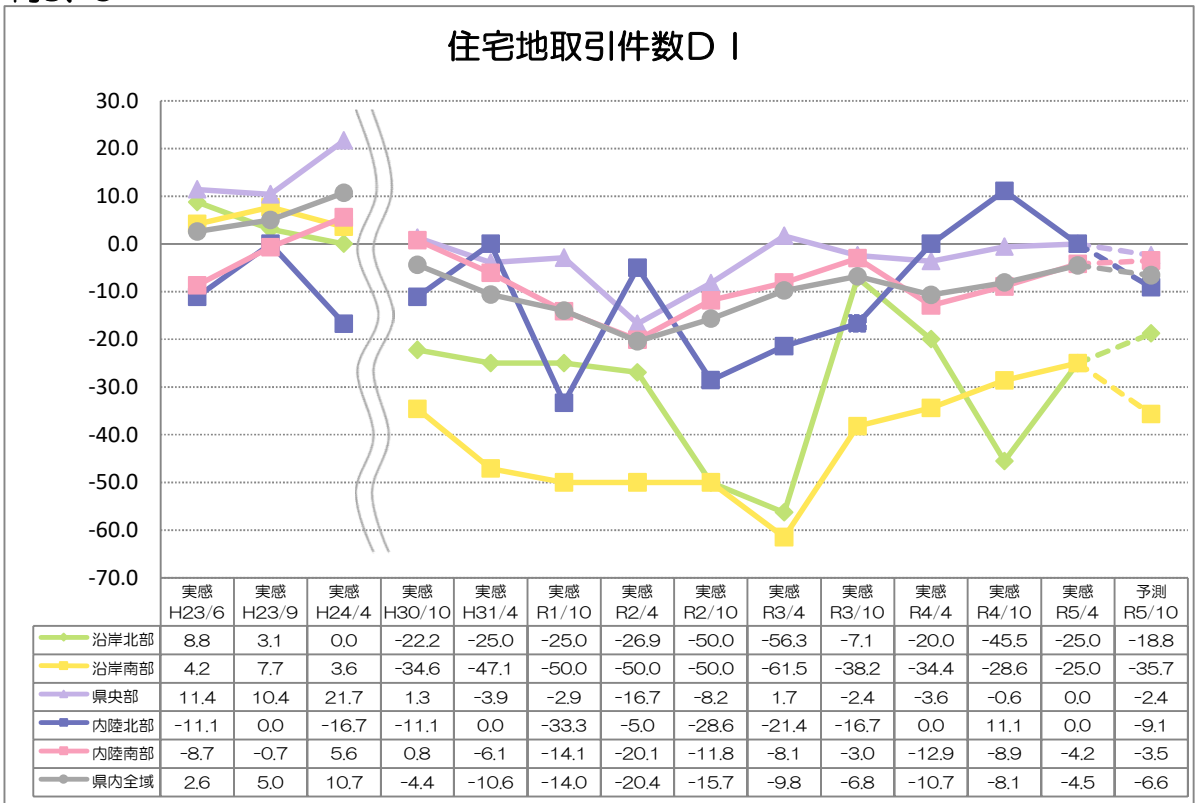
(2) 動向判断指数 (DI) による分析

問3、4



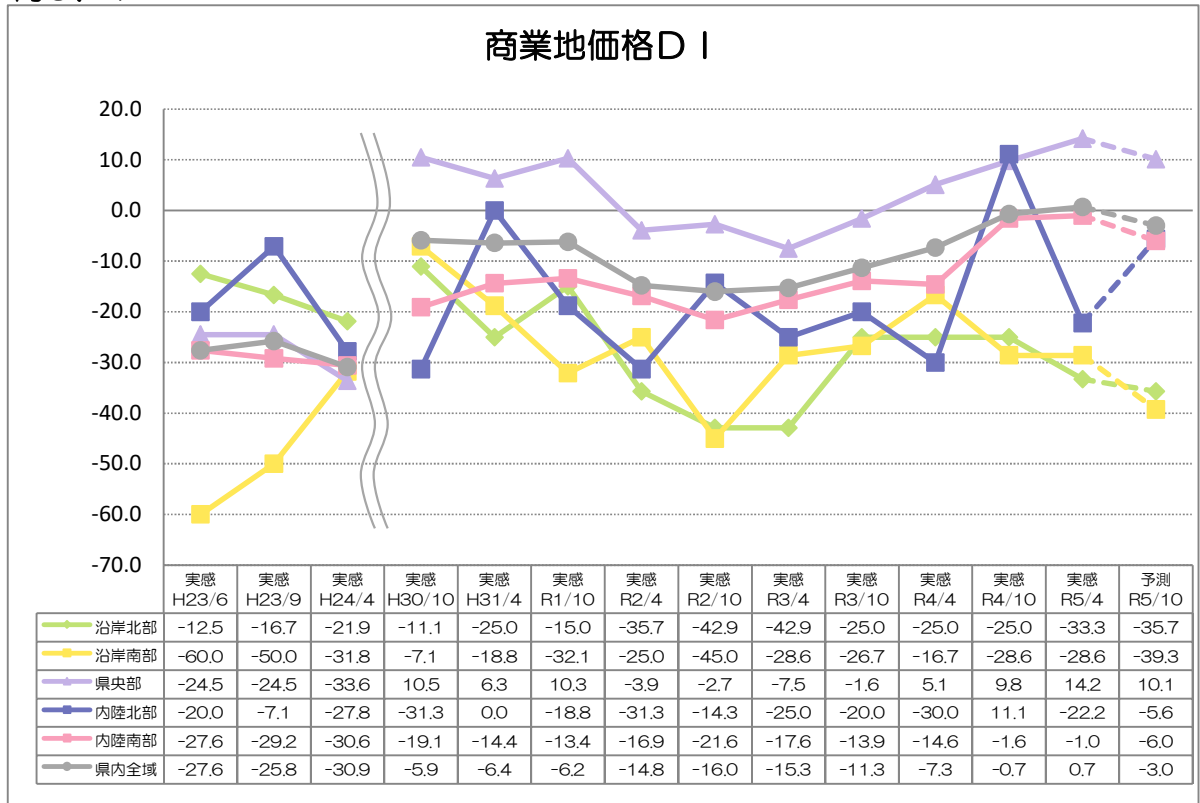
※実感H23/6は第1回調査（H23.6.1時点）の調査結果、実感H23/9は第2回調査（H23.9.1時点）の調査結果、実感H24/4は第3回調査（H24.4.1時点）の調査結果で、以後半年ごとの調査。（以下同様）

問5、6

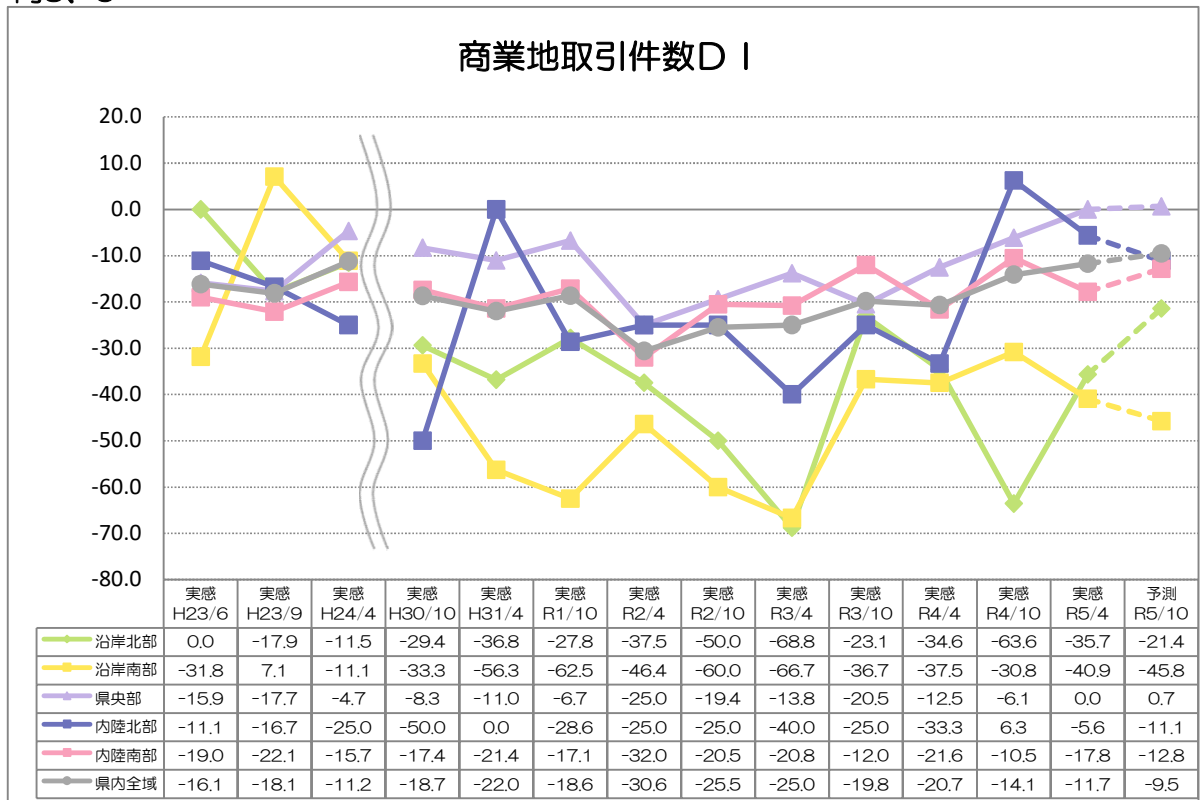


- 住宅地価格DIは、実感・予測ともに県中部及び内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。
- 住宅地取引件数DIの実感は、県中部及び内陸北部が横ばい、他の地域はマイナス。予測では、全地域がマイナス。

問3、4

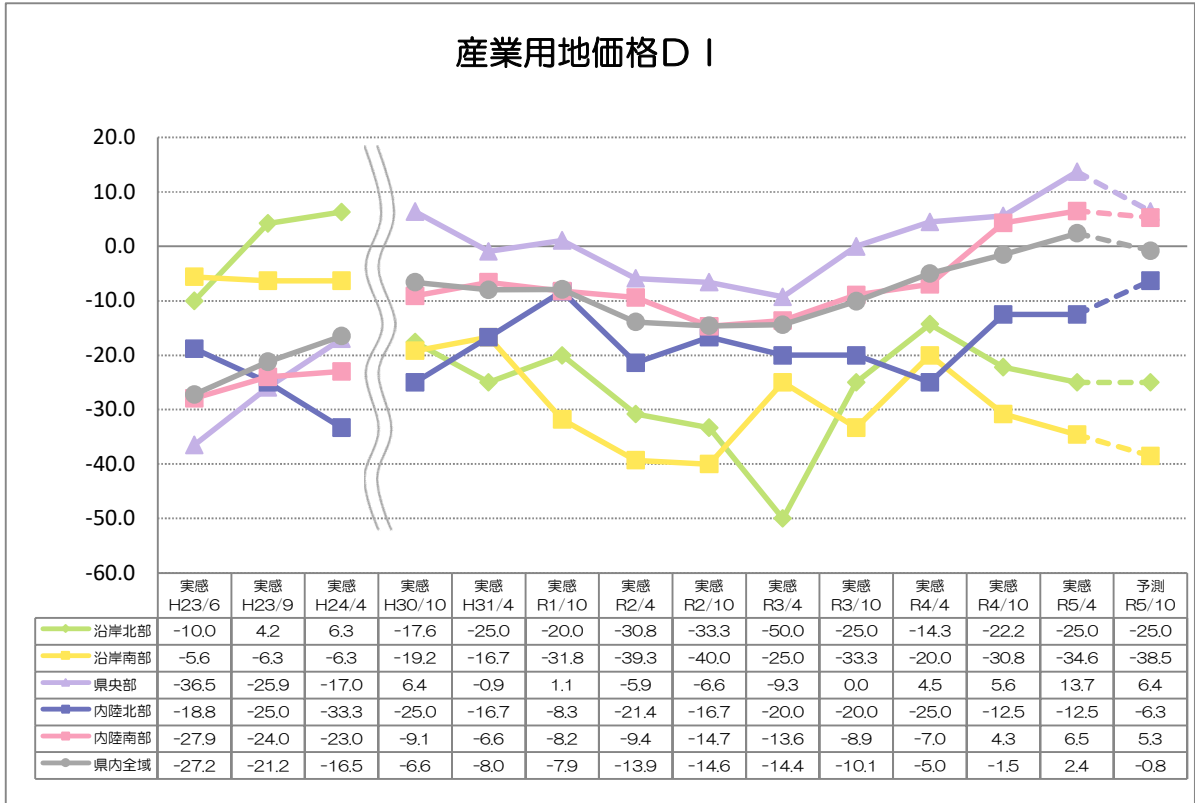


問5、6

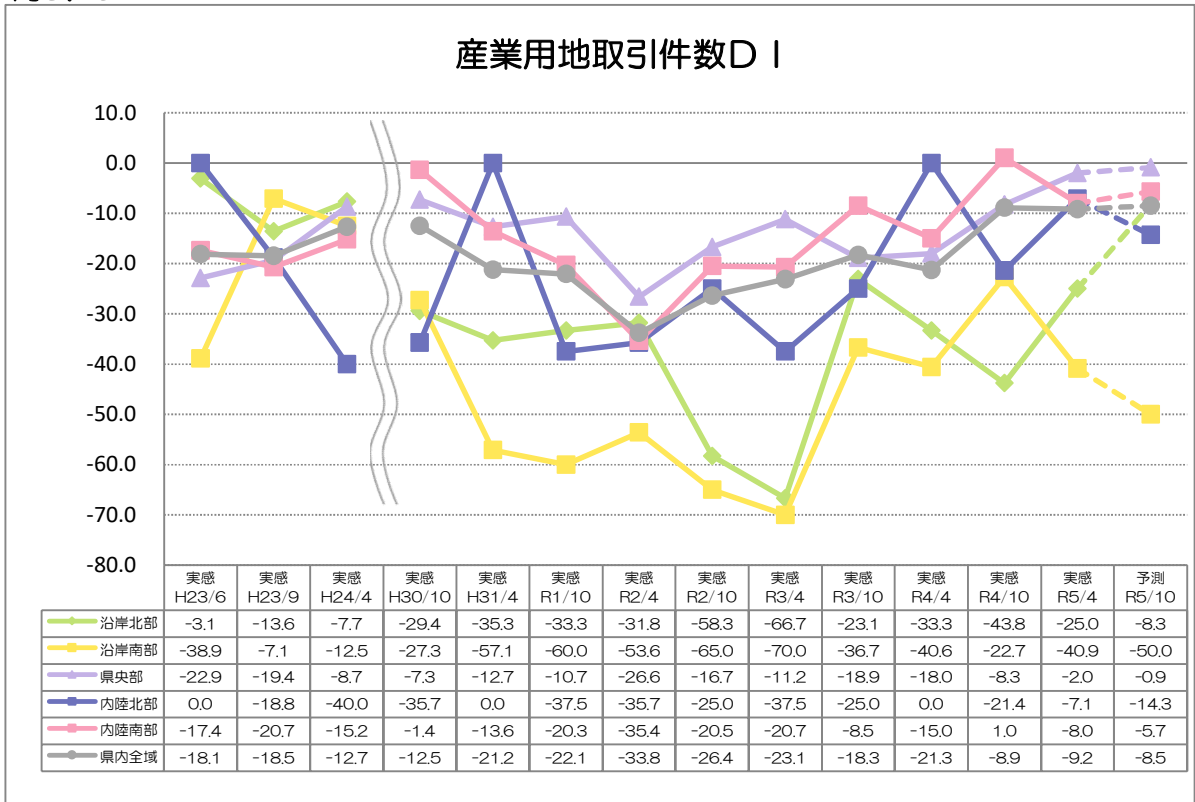


- 商業地価格DIは、実感・予測ともに県央部がプラス、他の地域はマイナス。
- 商業地取引件数DIの実感は、県央部が横ばい、他の地域はマイナス。予測では、県央部がプラス、他の地域はマイナス。

問3、4

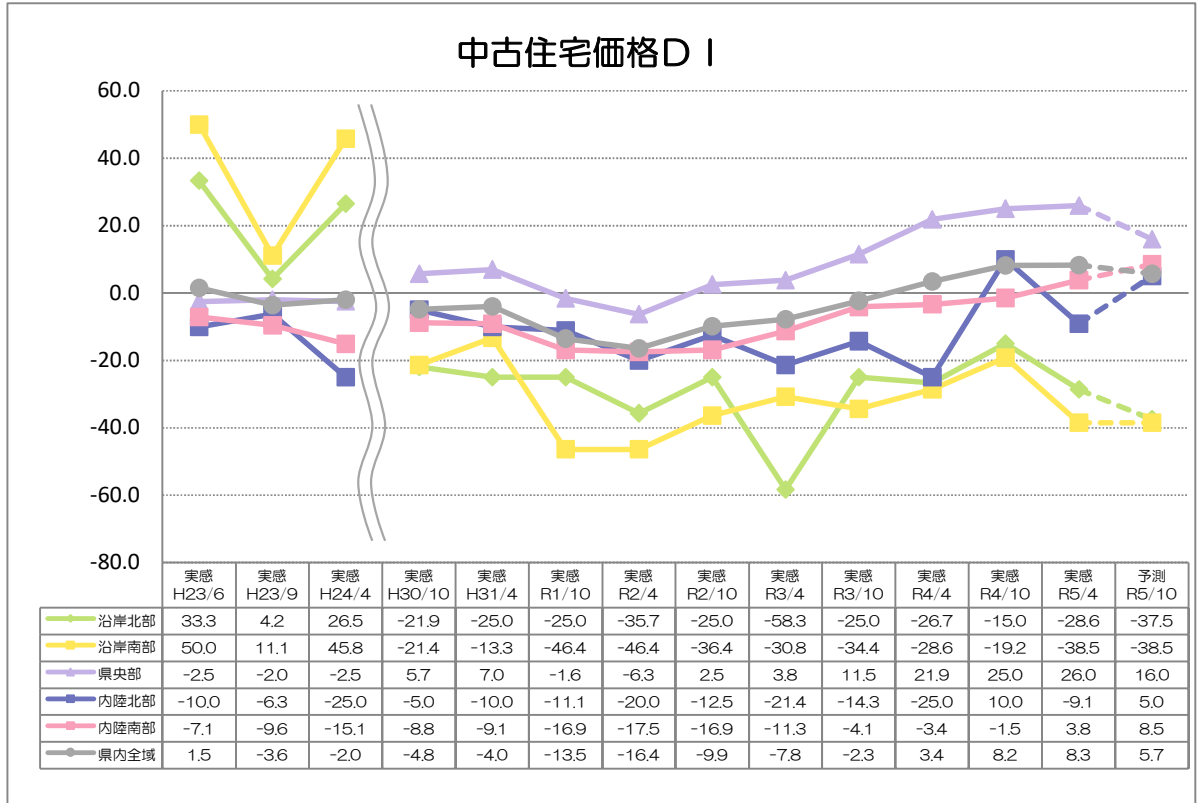


問5、6

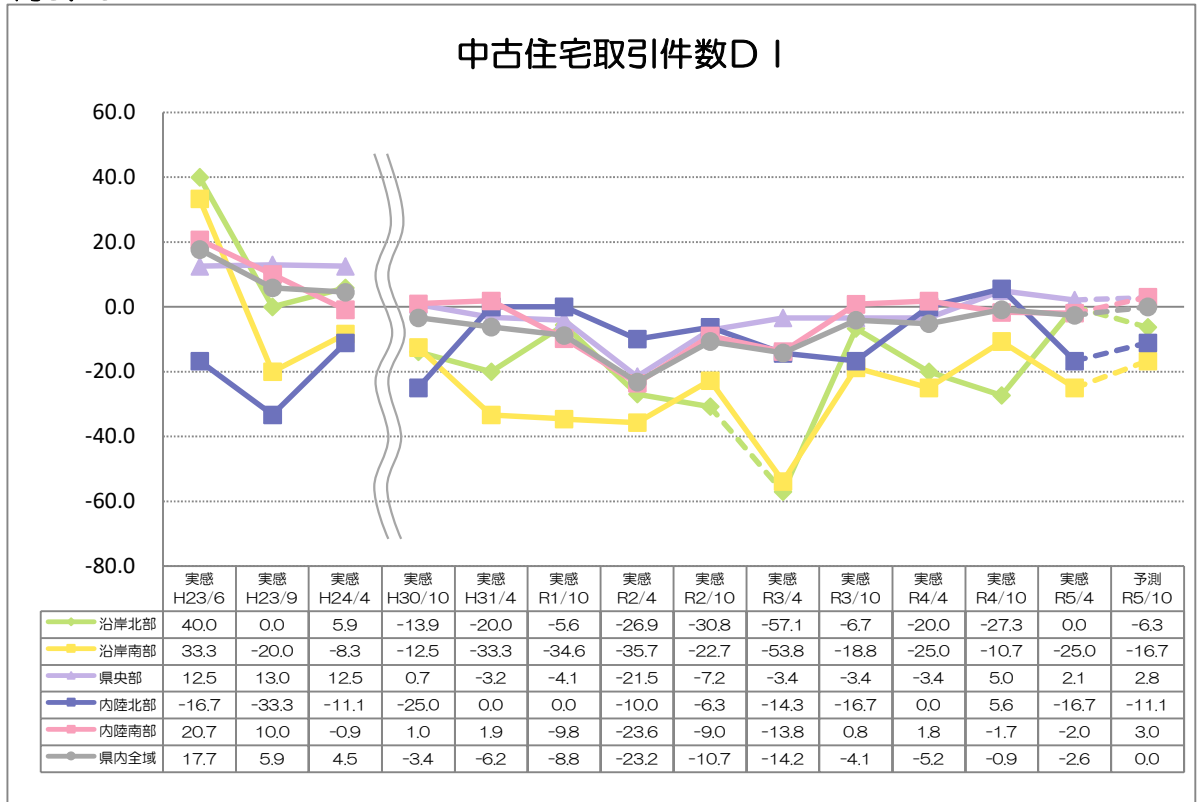


- 産業用地価格DIは、実感・予測ともに県央部及び内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。
- 産業用地取引件数DIは、実感・予測ともに全地域がマイナス。

問3、4

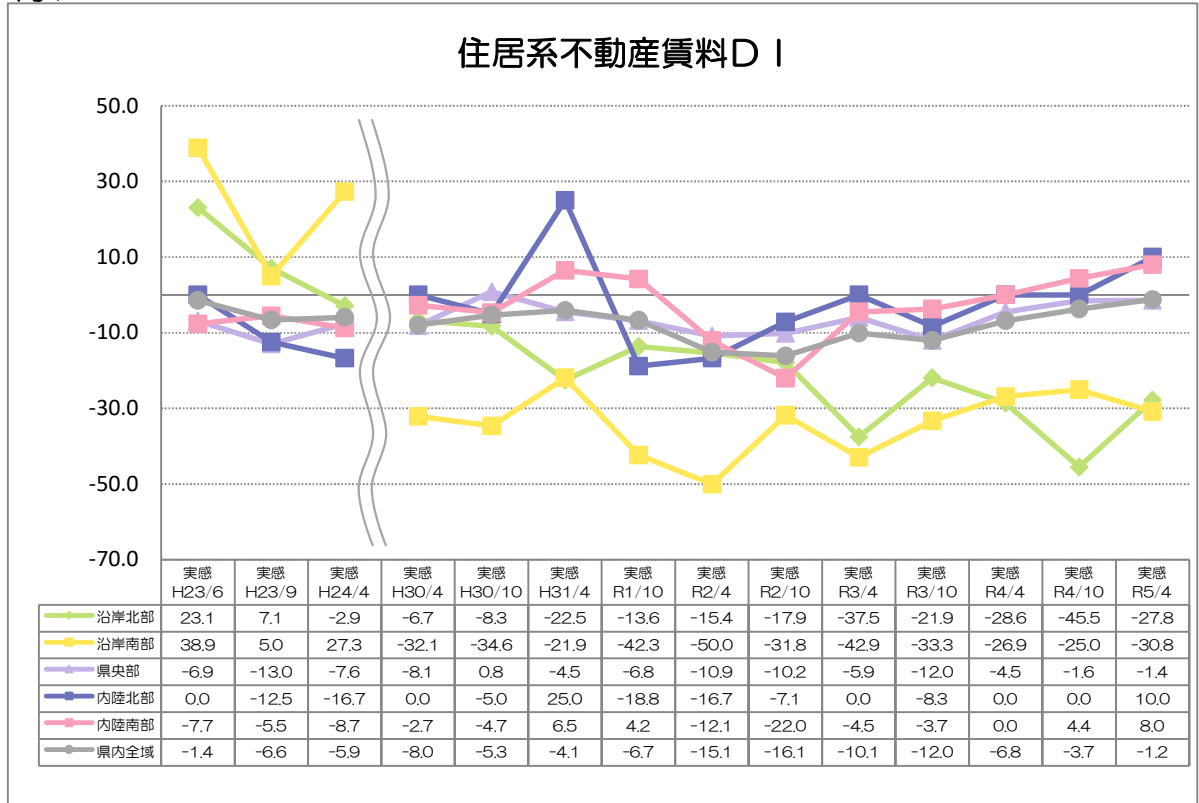


問5、6

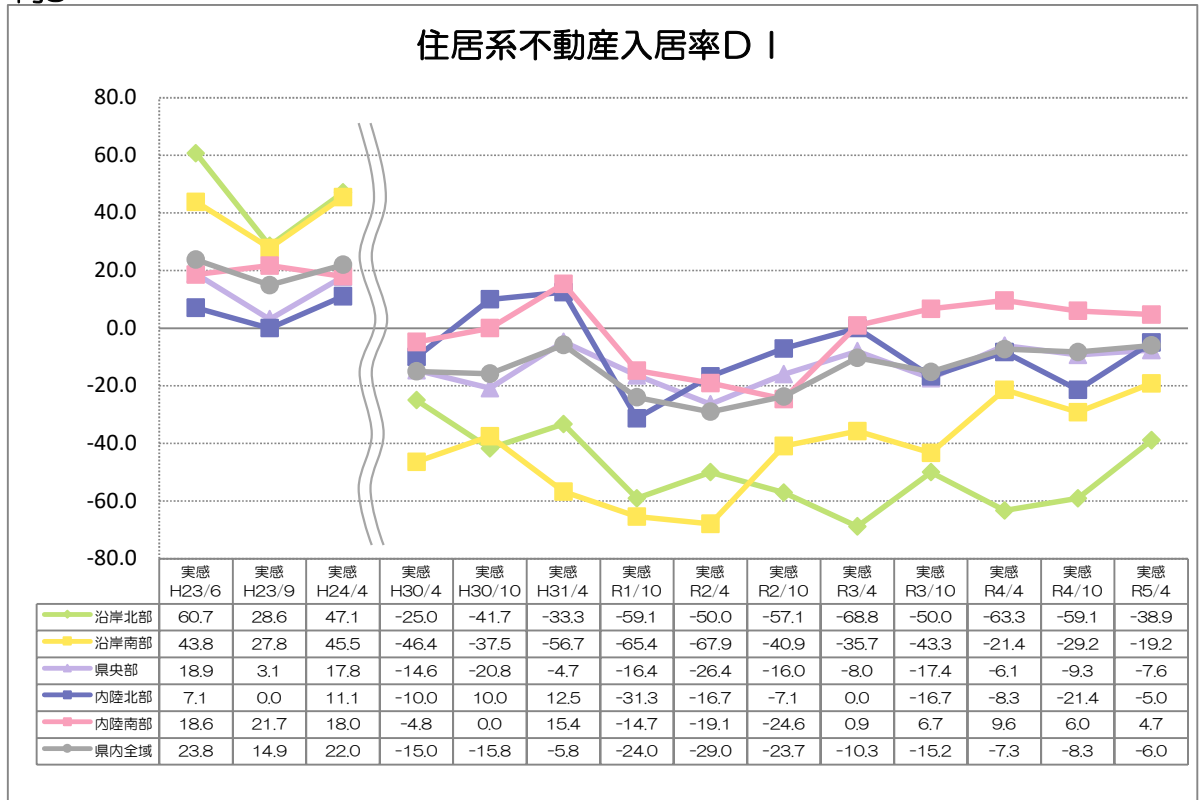


- 中古住宅価格DIの実感は、県中部及び内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。予測では、県中部、内陸北部及び内陸南部がプラス、沿岸北部及び沿岸南部はマイナス。
- 中古住宅取引件数DIの実感は、県中部がプラス、沿岸北部は横ばい、他の地域はマイナス。予測では、県中部及び内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。

問7

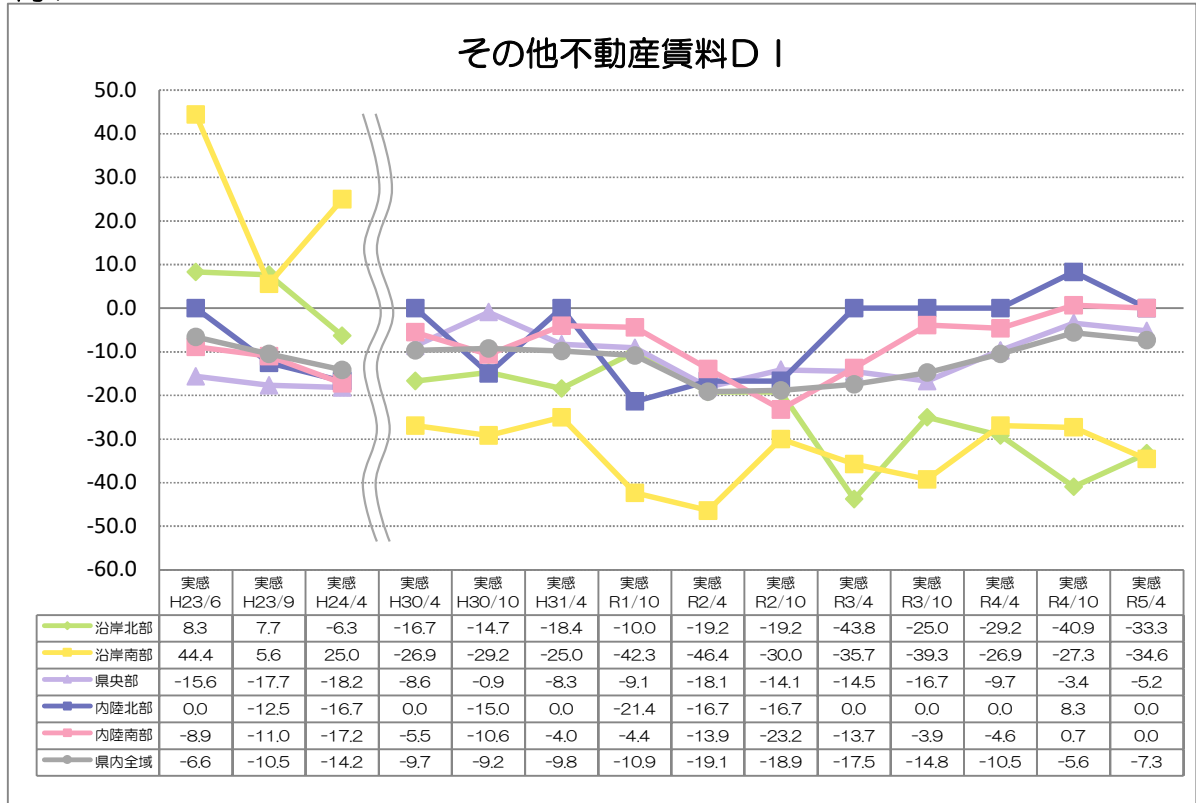


問8

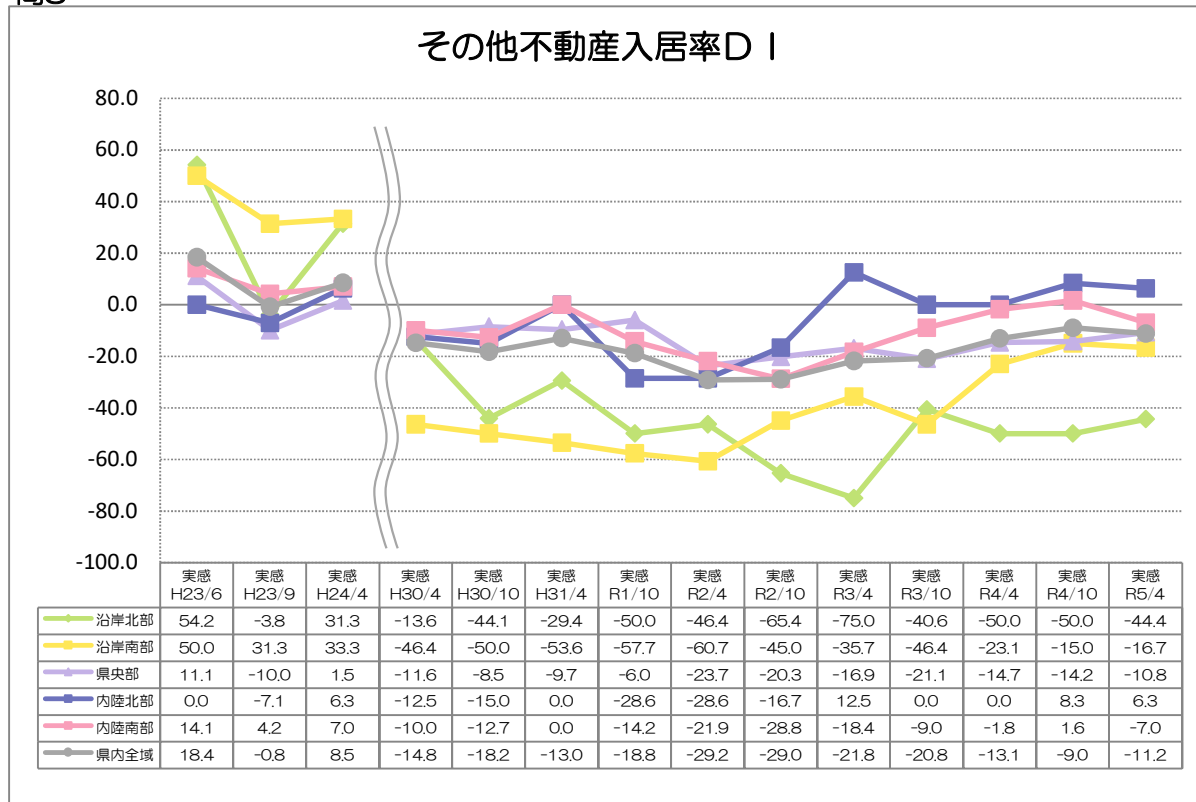


- 住居系不動産賃料DIは、内陸北部及び内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。
- 住居系不動産入居率DIは、内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。

問7



問8



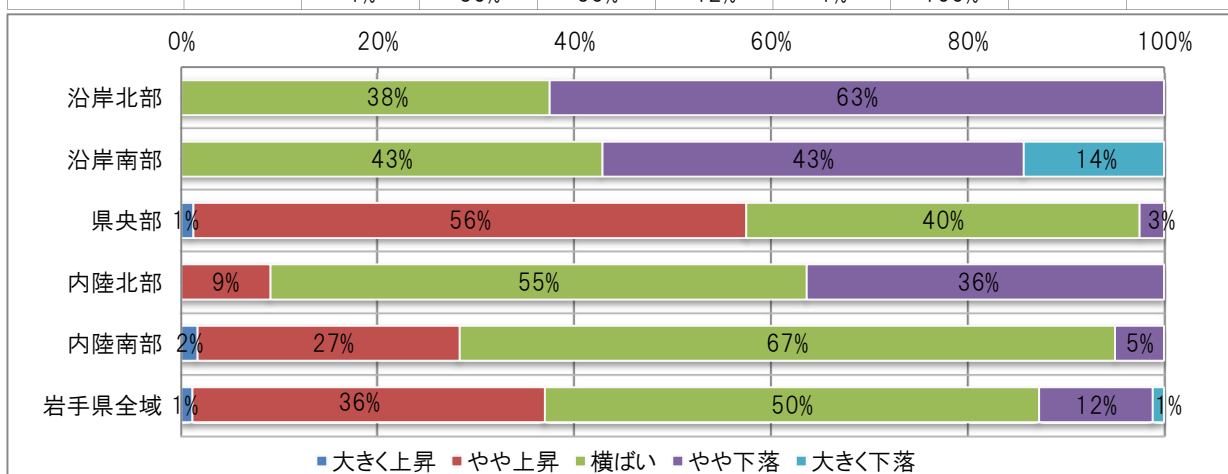
- その他不動産賃料DIは、内陸北部及び内陸南部が横ばい、他の地域はマイナス。
- その他不動産入居率DIは、内陸北部がプラス、他の地域はマイナス。

2. 設問ごとの回答内訳

問3:取引価格の6ヶ月前(R4.10.1時点)との比較 ①

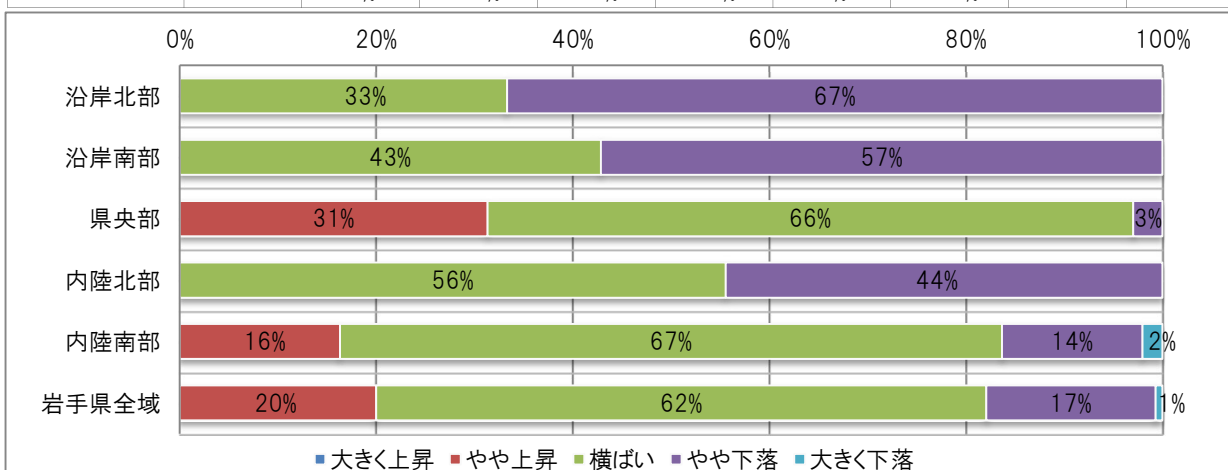
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-31.3	0	0	3	5	0	8	2	10
		0%	0%	38%	63%	0%	100%		
沿岸南部	-35.7	0	0	6	6	2	14	0	14
		0%	0%	43%	43%	14%	100%		
県央部	28.1	1	45	32	2	0	80	9	89
		1%	56%	40%	3%	0%	100%		
内陸北部	-13.6	0	1	6	4	0	11	0	11
		0%	9%	55%	36%	0%	100%		
内陸南部	12.5	1	16	40	3	0	60	4	64
		2%	27%	67%	5%	0%	100%		
岩手県全域	12.1	2	62	87	20	2	173	15	188
		1%	36%	50%	12%	1%	100%		



【商業地】

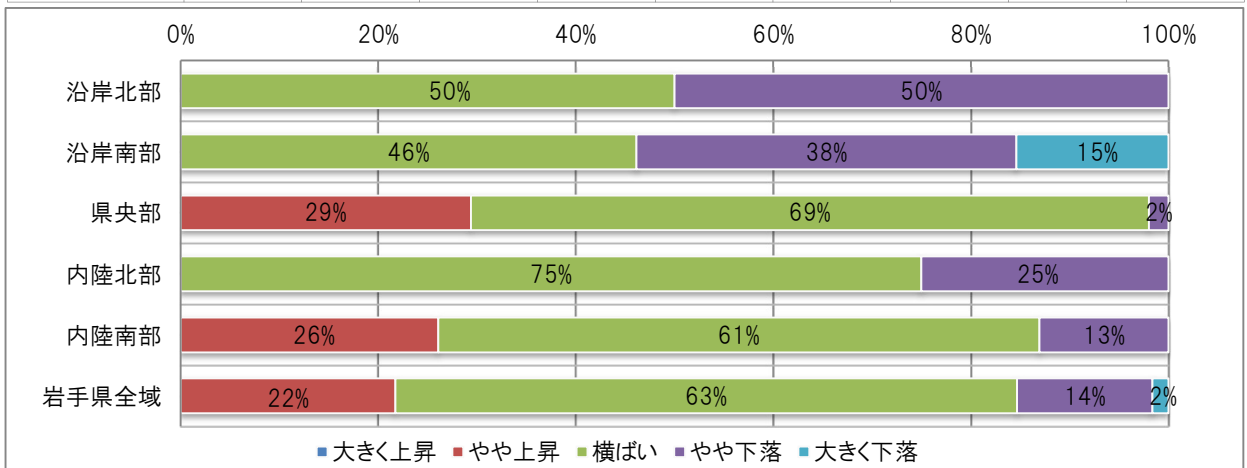
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-33.3	0	0	2	4	0	6	4	10
		0%	0%	33%	67%	0%	100%		
沿岸南部	-28.6	0	0	6	8	0	14	0	14
		0%	0%	43%	57%	0%	100%		
県央部	14.2	0	21	44	2	0	67	22	89
		0%	31%	66%	3%	0%	100%		
内陸北部	-22.2	0	0	5	4	0	9	2	11
		0%	0%	56%	44%	0%	100%		
内陸南部	-1.0	0	8	33	7	1	49	15	64
		0%	16%	67%	14%	2%	100%		
岩手県全域	0.7	0	29	90	25	1	145	43	188
		0%	20%	62%	17%	1%	100%		



問3:取引価格の6ヶ月前(R4.10.1時点)との比較 ②

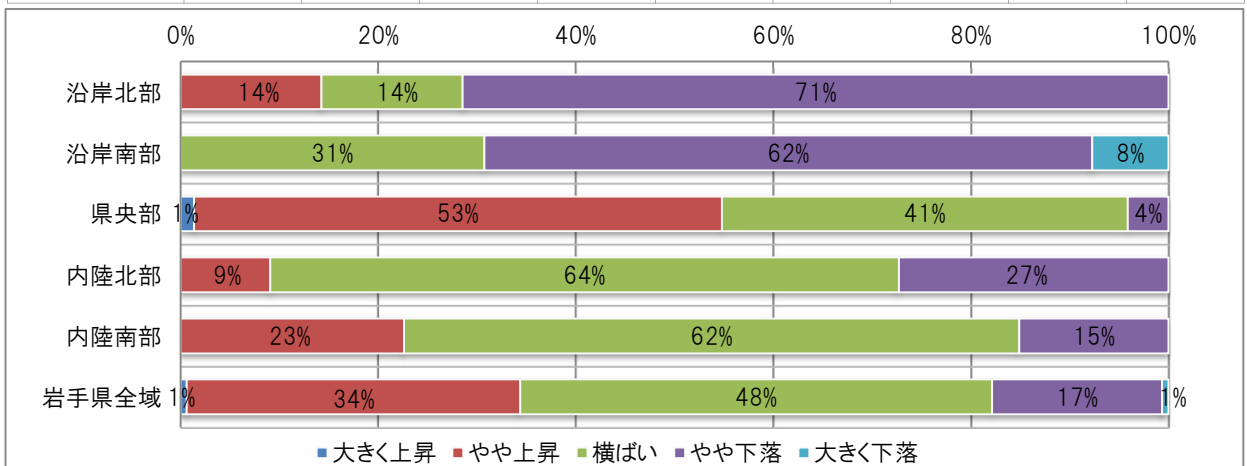
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-25.0	0	0	3	3	0	6	4	10
		0%	0%	50%	50%	0%	100%		
沿岸南部	-34.6	0	0	6	5	2	13	1	14
		0%	0%	46%	38%	15%	100%		
県央部	13.7	0	15	35	1	0	51	38	89
		0%	29%	69%	2%	0%	100%		
内陸北部	-12.5	0	0	6	2	0	8	3	11
		0%	0%	75%	25%	0%	100%		
内陸南部	6.5	0	12	28	6	0	46	18	64
		0%	26%	61%	13%	0%	100%		
岩手県全域	2.4	0	27	78	17	2	124	64	188
		0%	22%	63%	14%	2%	100%		



【中古住宅】

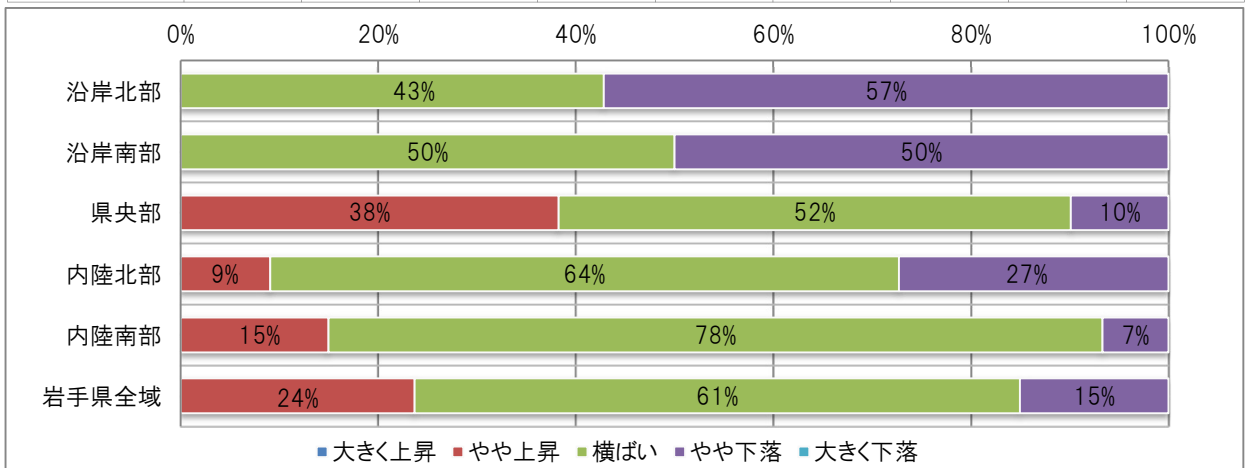
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-28.6	0	1	1	5	0	7	3	10
		0%	14%	14%	71%	0%	100%		
沿岸南部	-38.5	0	0	4	8	1	13	1	14
		0%	0%	31%	62%	8%	100%		
県央部	26.0	1	39	30	3	0	73	16	89
		1%	53%	41%	4%	0%	100%		
内陸北部	-9.1	0	1	7	3	0	11	0	11
		0%	9%	64%	27%	0%	100%		
内陸南部	3.8	0	12	33	8	0	53	11	64
		0%	23%	62%	15%	0%	100%		
岩手県全域	8.3	1	53	75	27	1	157	31	188
		1%	34%	48%	17%	1%	100%		



問4:6ヶ月後の取引価格の予測 ①

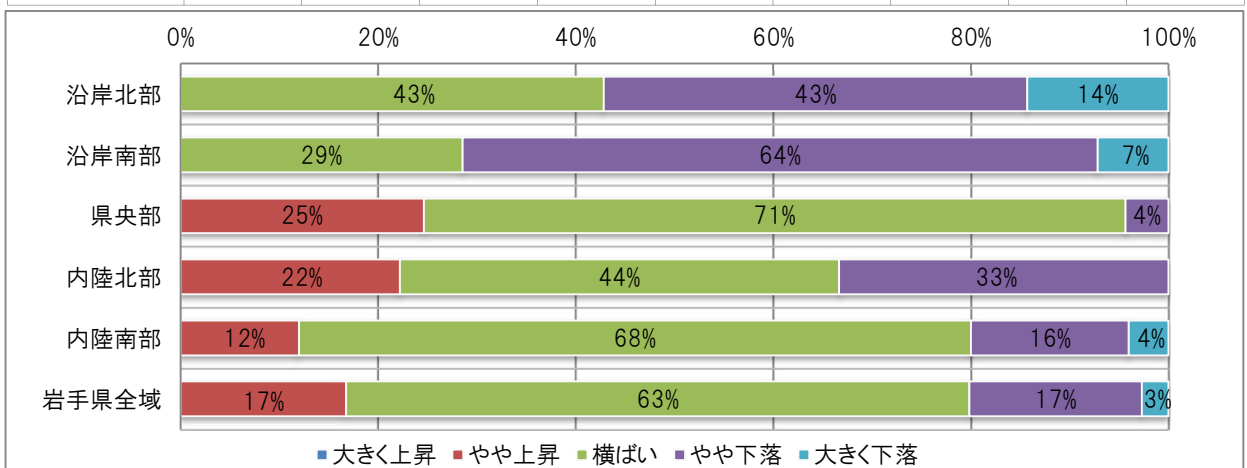
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-28.6	0	0	3	4	0	7	3	10
		0%	0%	43%	57%	0%	100%		
沿岸南部	-25.0	0	0	7	7	0	14	0	14
		0%	0%	50%	50%	0%	100%		
県央部	14.2	0	31	42	8	0	81	8	89
		0%	38%	52%	10%	0%	100%		
内陸北部	-9.1	0	1	7	3	0	11	0	11
		0%	9%	64%	27%	0%	100%		
内陸南部	4.2	0	9	47	4	0	60	4	64
		0%	15%	78%	7%	0%	100%		
岩手県全域	4.3	0	41	106	26	0	173	15	188
		0%	24%	61%	15%	0%	100%		



【商業地】

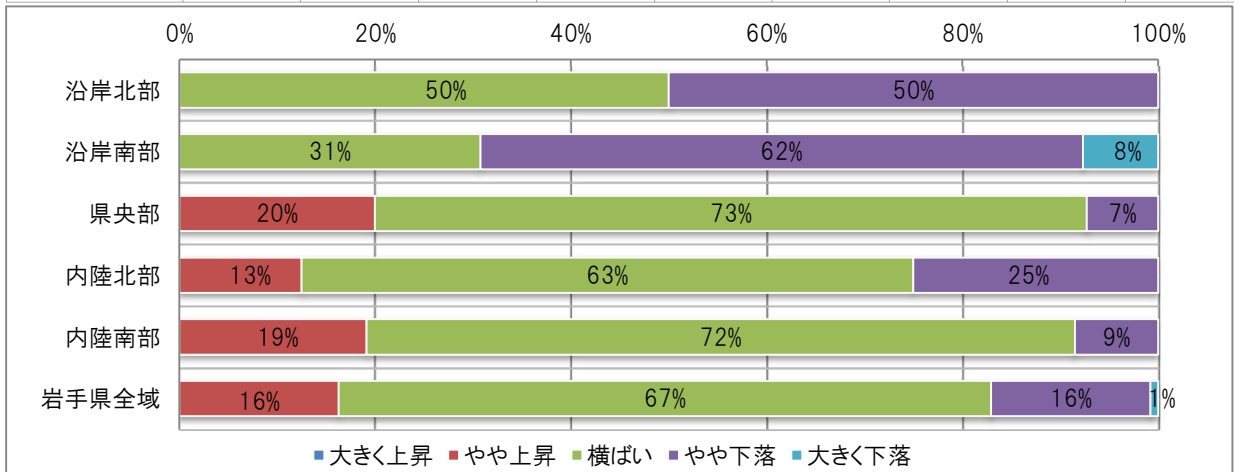
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-35.7	0	0	3	3	1	7	3	10
		0%	0%	43%	43%	14%	100%		
沿岸南部	-39.3	0	0	4	9	1	14	0	14
		0%	0%	29%	64%	7%	100%		
県央部	10.1	0	17	49	3	0	69	20	89
		0%	25%	71%	4%	0%	100%		
内陸北部	-5.6	0	2	4	3	0	9	2	11
		0%	22%	44%	33%	0%	100%		
内陸南部	-6.0	0	6	34	8	2	50	14	64
		0%	12%	68%	16%	4%	100%		
岩手県全域	-3.0	0	25	94	26	4	149	39	188
		0%	17%	63%	17%	3%	100%		



問4:6ヶ月後の取引価格の予測 ②

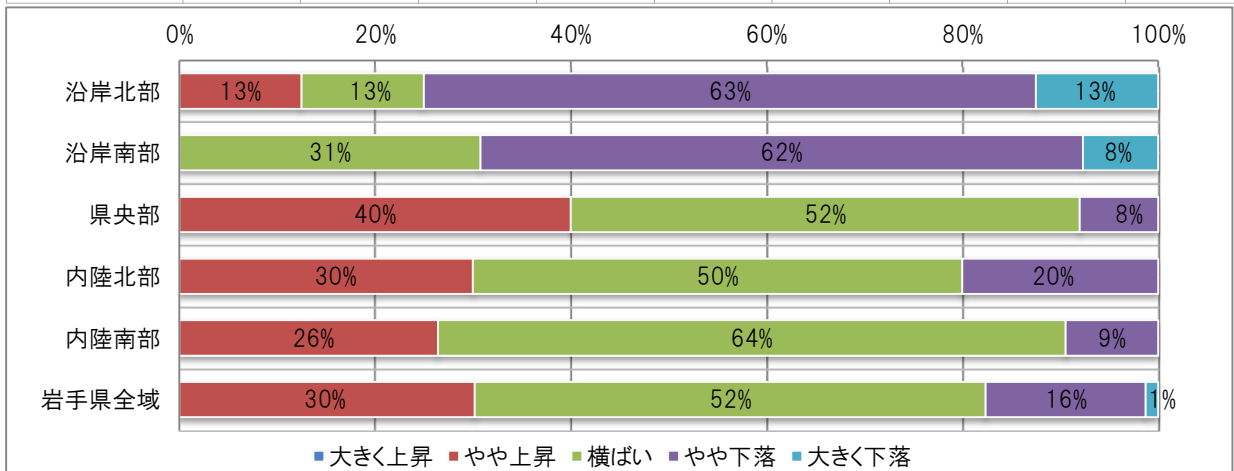
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-25.0	0	0	3	3	0	6	4	10
		0%	0%	50%	50%	0%	100%		
沿岸南部	-38.5	0	0	4	8	1	13	1	14
		0%	0%	31%	62%	8%	100%		
県央部	6.4	0	11	40	4	0	55	34	89
		0%	20%	73%	7%	0%	100%		
内陸北部	-6.3	0	1	5	2	0	8	3	11
		0%	13%	63%	25%	0%	100%		
内陸南部	5.3	0	9	34	4	0	47	17	64
		0%	19%	72%	9%	0%	100%		
岩手県全域	-0.8	0	21	86	21	1	129	59	188
		0%	16%	67%	16%	1%	100%		



【中古住宅】

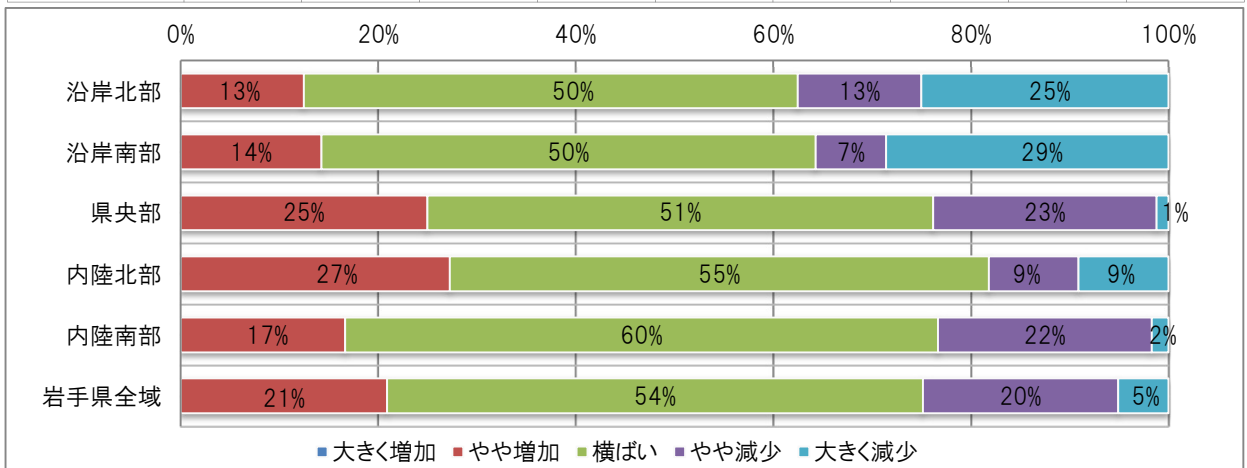
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-37.5	0	1	1	5	1	8	2	10
		0%	13%	13%	63%	13%	100%		
沿岸南部	-38.5	0	0	4	8	1	13	1	14
		0%	0%	31%	62%	8%	100%		
県央部	16.0	0	30	39	6	0	75	14	89
		0%	40%	52%	8%	0%	100%		
内陸北部	5.0	0	3	5	2	0	10	1	11
		0%	30%	50%	20%	0%	100%		
内陸南部	8.5	0	14	34	5	0	53	11	64
		0%	26%	64%	9%	0%	100%		
岩手県全域	5.7	0	48	83	26	2	159	29	188
		0%	30%	52%	16%	1%	100%		



問5:取引件数の6ヶ月前(R4.10.1時点)との比較 ①

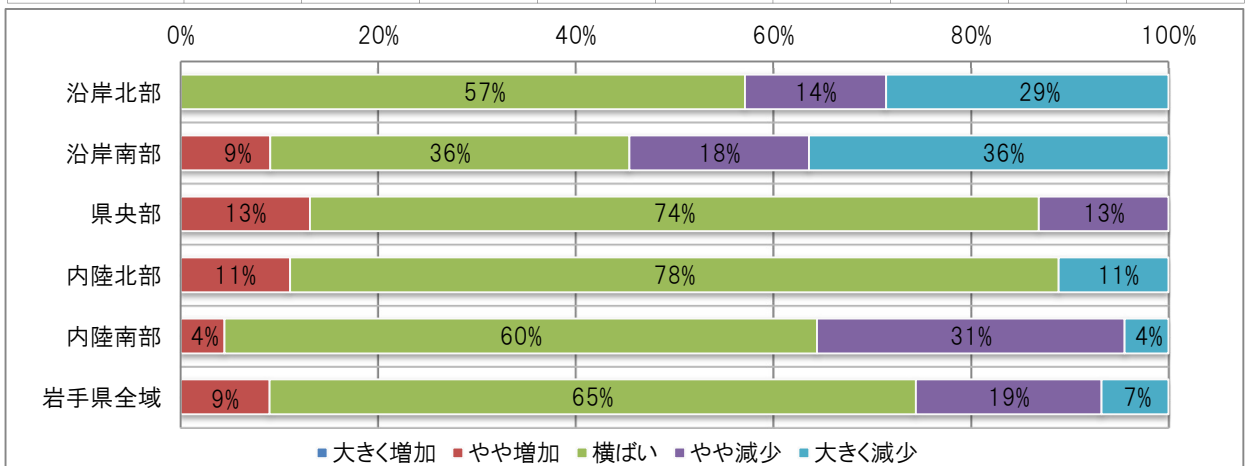
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-25.0	0	1	4	1	2	8	2	10
		0%	13%	50%	13%	25%	100%		
沿岸南部	-25.0	0	2	7	1	4	14	0	14
		0%	14%	50%	7%	29%	100%		
県央部	0.0	0	21	43	19	1	84	5	89
		0%	25%	51%	23%	1%	100%		
内陸北部	0.0	0	3	6	1	1	11	0	11
		0%	27%	55%	9%	9%	100%		
内陸南部	-4.2	0	10	36	13	1	60	4	64
		0%	17%	60%	22%	2%	100%		
岩手県全域	-4.5	0	37	96	35	9	177	11	188
		0%	21%	54%	20%	5%	100%		



【商業地】

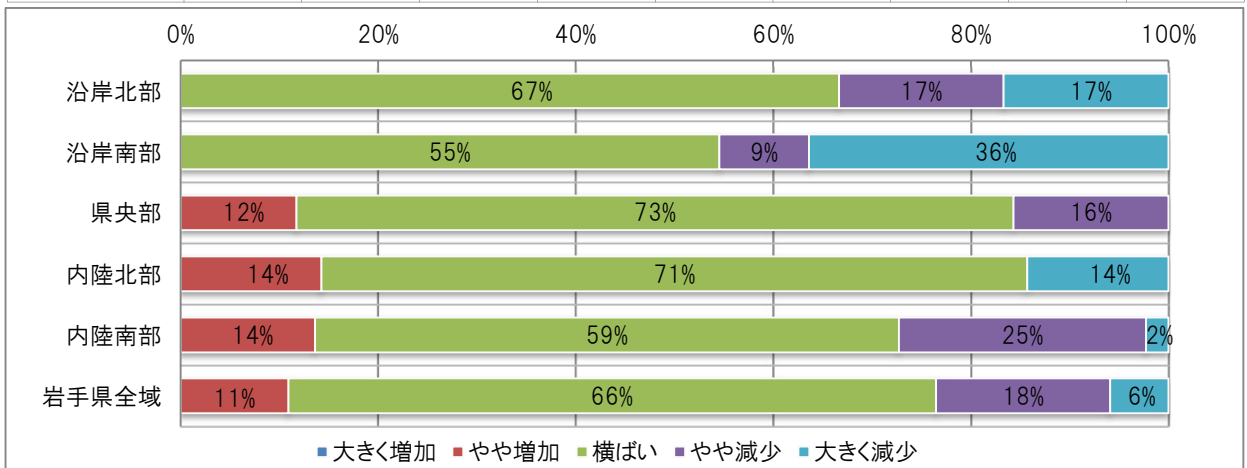
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-35.7	0	0	4	1	2	7	3	10
		0%	0%	57%	14%	29%	100%		
沿岸南部	-40.9	0	1	4	2	4	11	3	14
		0%	9%	36%	18%	36%	100%		
県央部	0.0	0	8	45	8	0	61	28	89
		0%	13%	74%	13%	0%	100%		
内陸北部	-5.6	0	1	7	0	1	9	2	11
		0%	11%	78%	0%	11%	100%		
内陸南部	-17.8	0	2	27	14	2	45	19	64
		0%	4%	60%	31%	4%	100%		
岩手県全域	-11.7	0	12	87	25	9	133	55	188
		0%	9%	65%	19%	7%	100%		



問5:取引件数の6ヶ月前(R4.10.1時点)との比較 ②

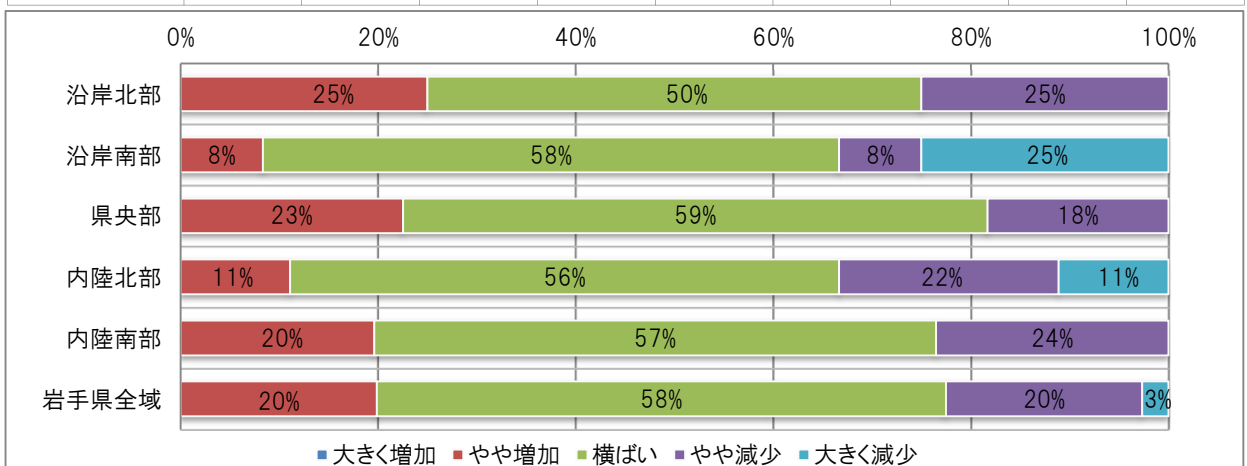
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-25.0	0	0	4	1	1	6	4	10
		0%	0%	67%	17%	17%	100%		
沿岸南部	-40.9	0	0	6	1	4	11	3	14
		0%	0%	55%	9%	36%	100%		
県央部	-2.0	0	6	37	8	0	51	38	89
		0%	12%	73%	16%	0%	100%		
内陸北部	-7.1	0	1	5	0	1	7	4	11
		0%	14%	71%	0%	14%	100%		
内陸南部	-8.0	0	6	26	11	1	44	20	64
		0%	14%	59%	25%	2%	100%		
岩手県全域	-9.2	0	13	78	21	7	119	69	188
		0%	11%	66%	18%	6%	100%		



【中古住宅】

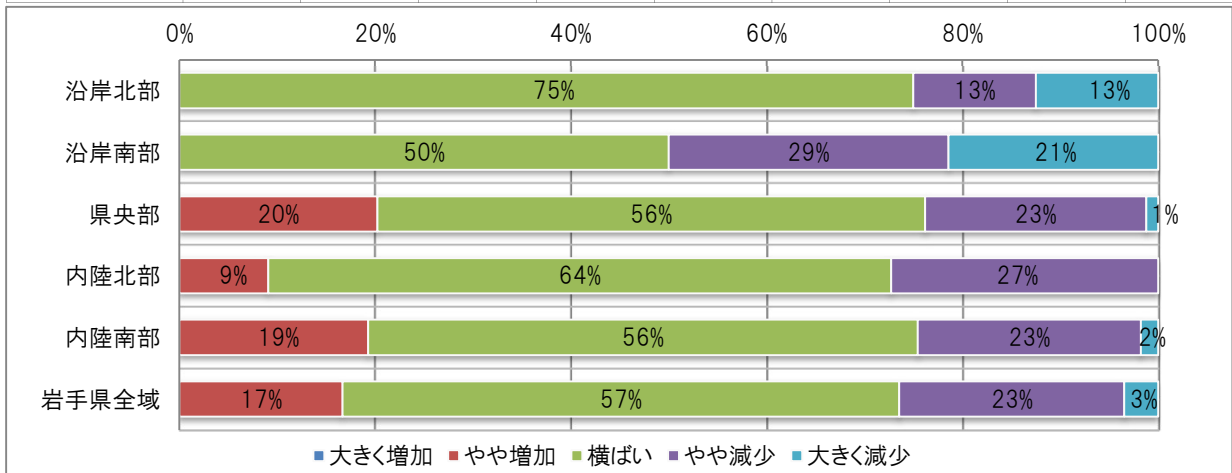
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	0.0	0	2	4	2	0	8	2	10
		0%	25%	50%	25%	0%	100%		
沿岸南部	-25.0	0	1	7	1	3	12	2	14
		0%	8%	58%	8%	25%	100%		
県央部	2.1	0	16	42	13	0	71	18	89
		0%	23%	59%	18%	0%	100%		
内陸北部	-16.7	0	1	5	2	1	9	2	11
		0%	11%	56%	22%	11%	100%		
内陸南部	-2.0	0	10	29	12	0	51	13	64
		0%	20%	57%	24%	0%	100%		
岩手県全域	-2.6	0	30	87	30	4	151	37	188
		0%	20%	58%	20%	3%	100%		



問6:6ヶ月後の取引件数の予測 ①

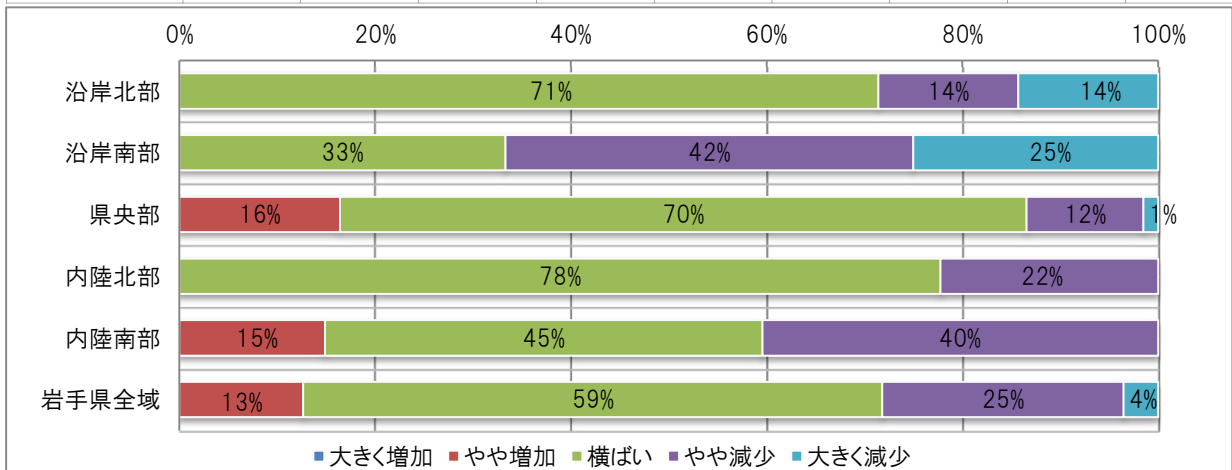
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-18.8	0	0	6	1	1	8	2	10
		0%	0%	75%	13%	13%	100%		
沿岸南部	-35.7	0	0	7	4	3	14	0	14
		0%	0%	50%	29%	21%	100%		
県央部	-2.4	0	17	47	19	1	84	5	89
		0%	20%	56%	23%	1%	100%		
内陸北部	-9.1	0	1	7	3	0	11	0	11
		0%	9%	64%	27%	0%	100%		
内陸南部	-3.5	0	11	32	13	1	57	7	64
		0%	19%	56%	23%	2%	100%		
岩手県全域	-6.6	0	29	99	40	6	174	14	188
		0%	17%	57%	23%	3%	100%		



【商業地】

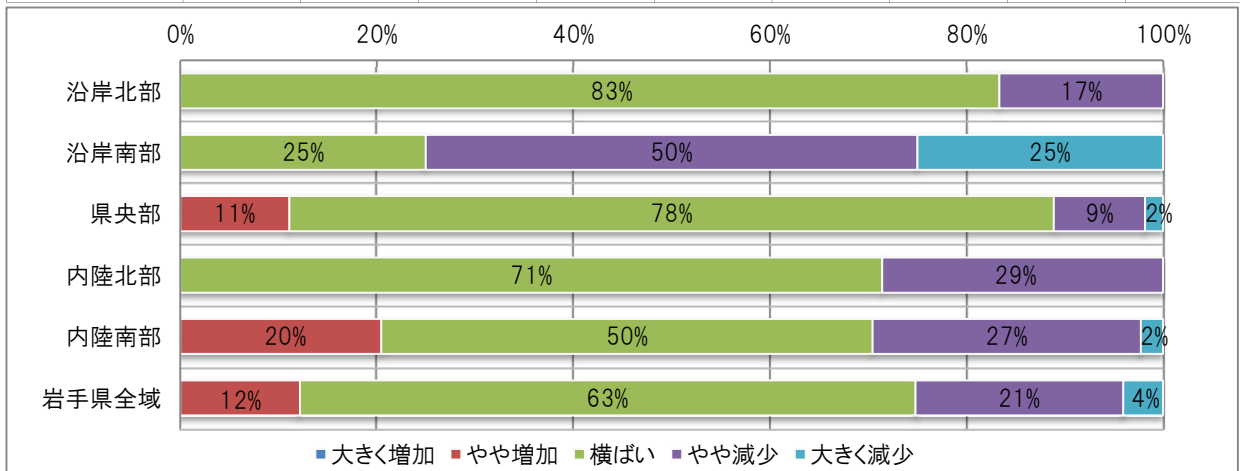
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-21.4	0	0	5	1	1	7	3	10
		0%	0%	71%	14%	14%	100%		
沿岸南部	-45.8	0	0	4	5	3	12	2	14
		0%	0%	33%	42%	25%	100%		
県央部	0.7	0	11	47	8	1	67	22	89
		0%	16%	70%	12%	1%	100%		
内陸北部	-11.1	0	0	7	2	0	9	2	11
		0%	0%	78%	22%	0%	100%		
内陸南部	-12.8	0	7	21	19	0	47	17	64
		0%	15%	45%	40%	0%	100%		
岩手県全域	-9.5	0	18	84	35	5	142	46	188
		0%	13%	59%	25%	4%	100%		



問6:6ヶ月後の取引件数の予測 ②

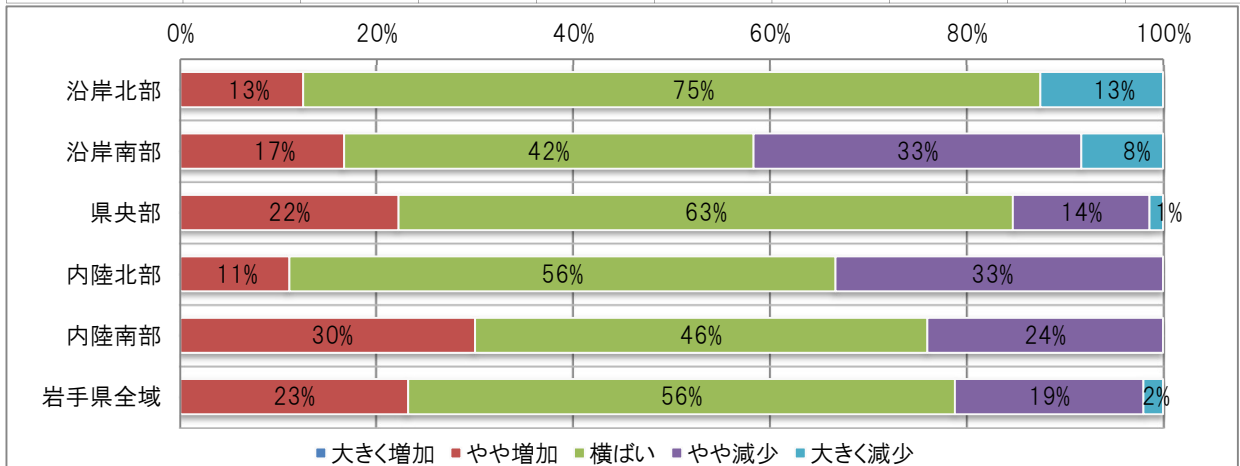
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-8.3	0	0	5	1	0	6	4	10
		0%	0%	83%	17%	0%	100%		
沿岸南部	-50.0	0	0	3	6	3	12	2	14
		0%	0%	25%	50%	25%	100%		
県央部	-0.9	0	6	42	5	1	54	35	89
		0%	11%	78%	9%	2%	100%		
内陸北部	-14.3	0	0	5	2	0	7	4	11
		0%	0%	71%	29%	0%	100%		
内陸南部	-5.7	0	9	22	12	1	44	20	64
		0%	20%	50%	27%	2%	100%		
岩手県全域	-8.5	0	15	77	26	5	123	65	188
		0%	12%	63%	21%	4%	100%		



【中古住宅】

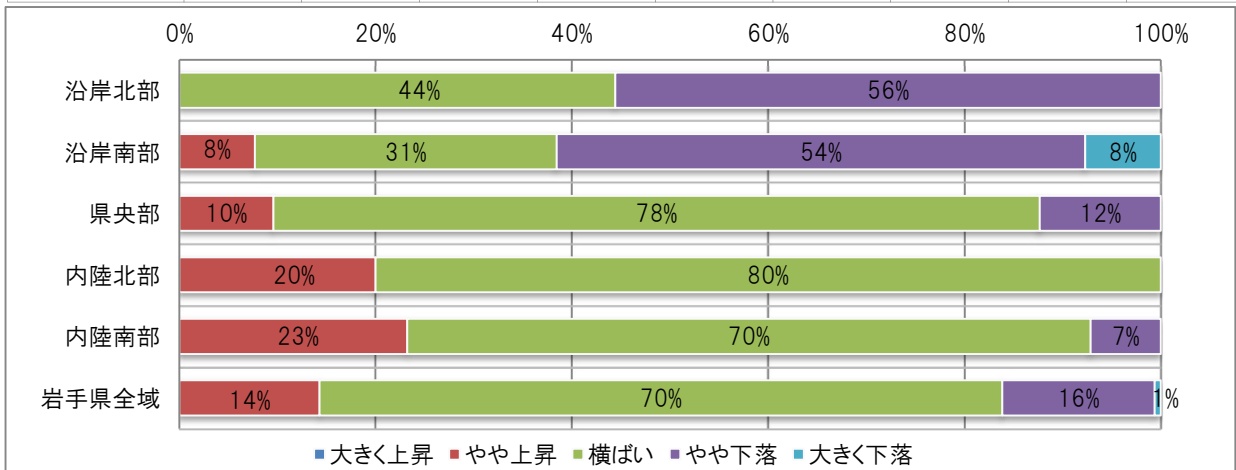
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-6.3	0	1	6	0	1	8	2	10
		0%	13%	75%	0%	13%	100%		
沿岸南部	-16.7	0	2	5	4	1	12	2	14
		0%	17%	42%	33%	8%	100%		
県央部	2.8	0	16	45	10	1	72	17	89
		0%	22%	63%	14%	1%	100%		
内陸北部	-11.1	0	1	5	3	0	9	2	11
		0%	11%	56%	33%	0%	100%		
内陸南部	3.0	0	15	23	12	0	50	14	64
		0%	30%	46%	24%	0%	100%		
岩手県全域	0.0	0	35	84	29	3	151	37	188
		0%	23%	56%	19%	2%	100%		



問7:賃料の6ヶ月前(R4.10.1時点)との比較

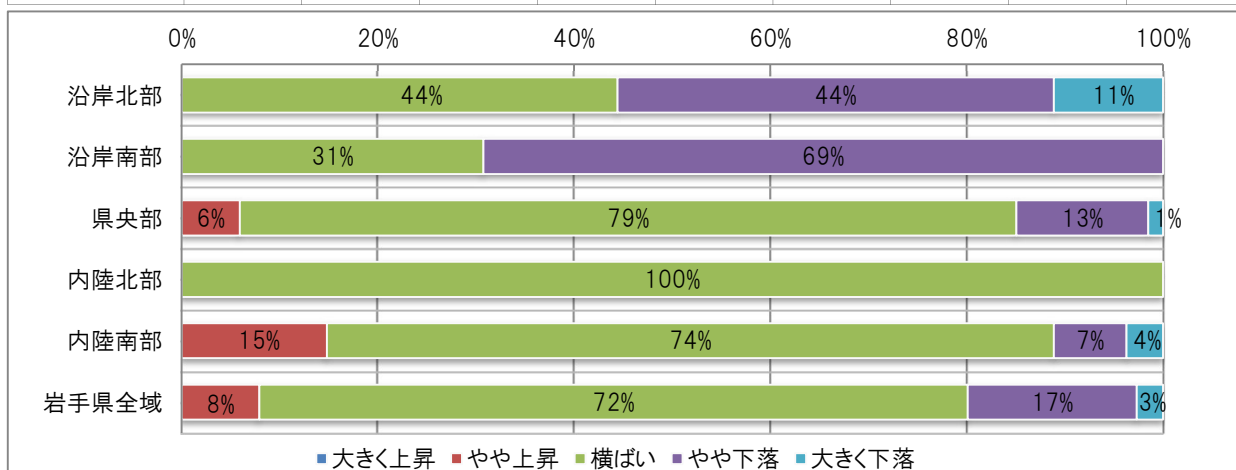
【住居系不動産】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-27.8	0	0	4	5	0	9	1	10
		0%	0%	44%	56%	0%	100%		
沿岸南部	-30.8	0	1	4	7	1	13	1	14
		0%	8%	31%	54%	8%	100%		
県央部	-1.4	0	7	57	9	0	73	16	89
		0%	10%	78%	12%	0%	100%		
内陸北部	10.0	0	2	8	0	0	10	1	11
		0%	20%	80%	0%	0%	100%		
内陸南部	8.0	0	13	39	4	0	56	8	64
		0%	23%	70%	7%	0%	100%		
岩手県全域	-1.2	0	23	112	25	1	161	27	188
		0%	14%	70%	16%	1%	100%		



【その他不動産】

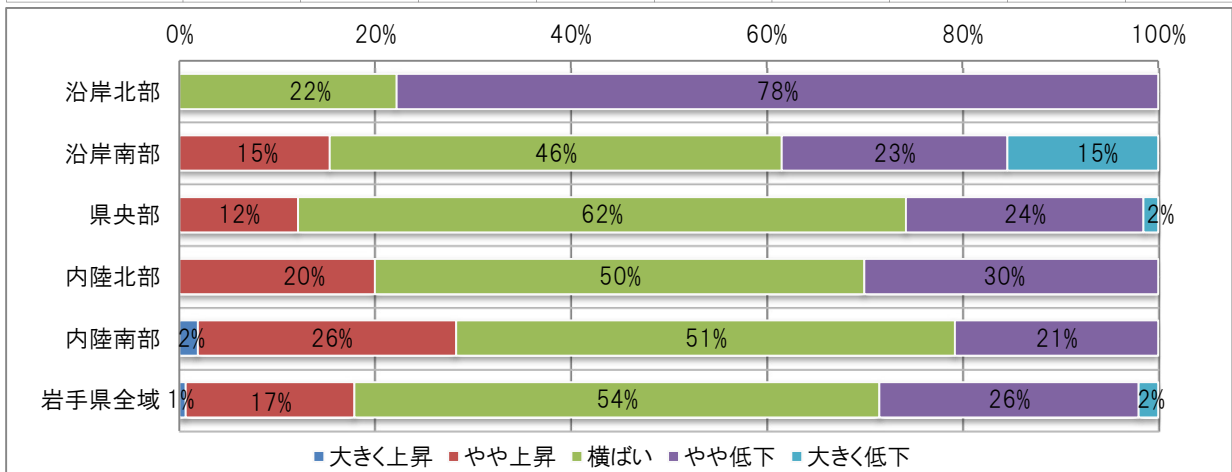
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-33.3	0	0	4	4	1	9	1	10
		0%	0%	44%	44%	11%	100%		
沿岸南部	-34.6	0	0	4	9	0	13	1	14
		0%	0%	31%	69%	0%	100%		
県央部	-5.2	0	4	53	9	1	67	22	89
		0%	6%	79%	13%	1%	100%		
内陸北部	0.0	0	0	8	0	0	8	3	11
		0%	0%	100%	0%	0%	100%		
内陸南部	0.0	0	8	40	4	2	54	10	64
		0%	15%	74%	7%	4%	100%		
岩手県全域	-7.3	0	12	109	26	4	151	37	188
		0%	8%	72%	17%	3%	100%		



問8:入居率の6ヶ月前(R4.10.1時点)との比較

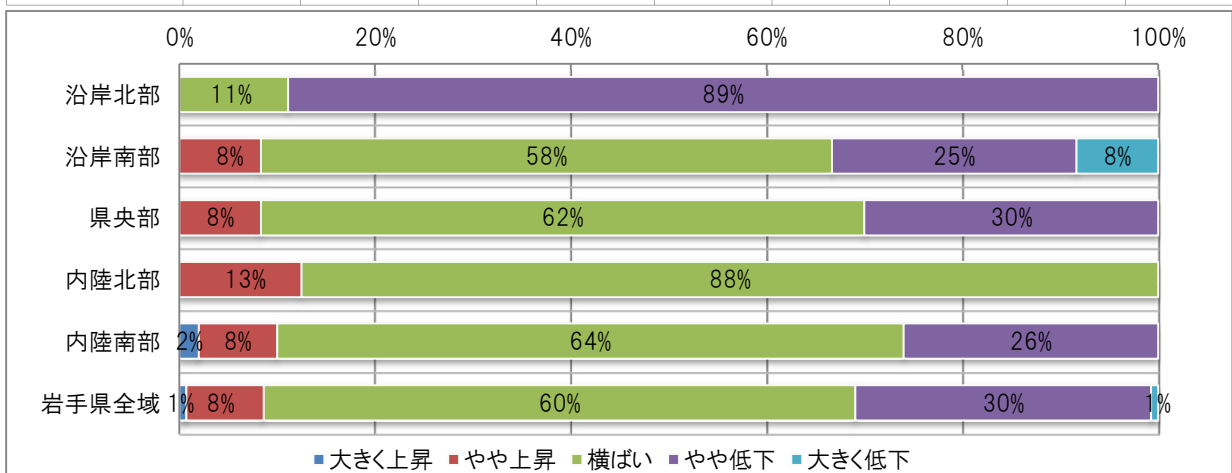
【住居系不動産】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや低下	大きく低下	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-38.9	0	0	2	7	0	9	1	10
		0%	0%	22%	78%	0%	100%		
沿岸南部	-19.2	0	2	6	3	2	13	1	14
		0%	15%	46%	23%	15%	100%		
県央部	-7.6	0	8	41	16	1	66	23	89
		0%	12%	62%	24%	2%	100%		
内陸北部	-5.0	0	2	5	3	0	10	1	11
		0%	20%	50%	30%	0%	100%		
内陸南部	4.7	1	14	27	11	0	53	11	64
		2%	26%	51%	21%	0%	100%		
岩手県全域	-6.0	1	26	81	40	3	151	37	188
		1%	17%	54%	26%	2%	100%		



【その他不動産】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや低下	大きく低下	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-44.4	0	0	1	8	0	9	1	10
		0%	0%	11%	89%	0%	100%		
沿岸南部	-16.7	0	1	7	3	1	12	2	14
		0%	8%	58%	25%	8%	100%		
県央部	-10.8	0	5	37	18	0	60	29	89
		0%	8%	62%	30%	0%	100%		
内陸北部	6.3	0	1	7	0	0	8	3	11
		0%	13%	88%	0%	0%	100%		
内陸南部	-7.0	1	4	32	13	0	50	14	64
		2%	8%	64%	26%	0%	100%		
岩手県全域	-11.2	1	11	84	42	1	139	49	188
		1%	8%	60%	30%	1%	100%		



お問い合わせ窓口

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会

調査研究委員長 貝原 敦（不動産鑑定士）
（所属） 一般財団法人 日本不動産研究所 盛岡支所
〒020-0026 盛岡市開運橋通1番1号アクア盛岡ビル3F
電話019-652-1821 FAX019-654-2845

調査研究委員 新沼 輝雄（不動産鑑定士）
（所属） 新沼不動産鑑定事務所
〒020-0873 盛岡市松尾町1-7
電話019-613-9292 FAX019-613-9293

調査研究委員 佐々木 健一（不動産鑑定士）
（所属） Greo
〒020-0015 盛岡市本町通3-8-9-606
電話070-8521-0738 FAX050-3588-7368

一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会の概要

団体名： 一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会
代表者名： 会長 多田 幸司
発足： 昭和42年7月
会員数： 589会員（準会員を含む）
所在地： 盛岡市前九年1-9-30
電話番号： 019-646-1111

公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部の概要

団体名： 公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部
代表者名： 本部長 浅沼 儀洋
発足： 昭和36年11月
会員数： 133会員
所在地： 盛岡市八幡町1番9-101
電話番号： 019-625-5900

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会の概要

団体名： 一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会
代表者名： 会長 佐藤 真
発足： 平成21年4月
会員数： 不動産鑑定士26名、不動産鑑定業者24社
所在地： 盛岡市大通1-3-4 宏陽ビル6階
電話番号： 019-604-3070

※ 無断複製転載を禁じます。